

平成28年度

高知県学力定着状況調査結果の概要
速報版

平成29年2月

高知県教育委員会

平成28年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用して課題を解決する力（思考・判断・表現する力等）の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査への参加状況

◇ 参加学校数 299校

小学校	192校
中学校	105校
義務教育学校（前期課程・後期課程）	2校

◇ 小学校解答児童数

第4学年

国語	5,413人	算数	5,406人
----	--------	----	--------

第5学年

国語	5,327人	算数	5,317人	理科	5,332人
----	--------	----	--------	----	--------

◇ 中学校解答生徒数

第1学年

国語	4,451人	社会	4,452人	数学	4,451人
理科	4,448人	外国語（英語）	4,457人		

第2学年

国語	4,437人	社会	4,469人	数学	4,453人
理科	4,475人	外国語（英語）	4,469人		

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声聞いて答える問題も出題

(2) 内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施日

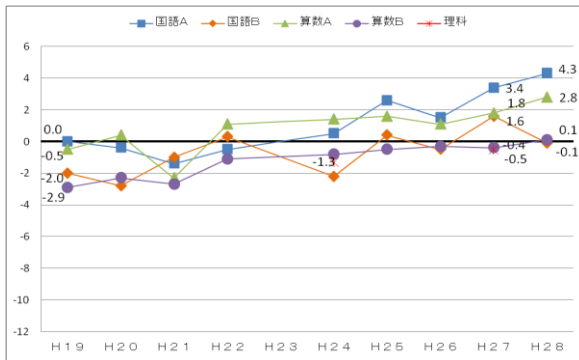
平成29年1月11日（水）



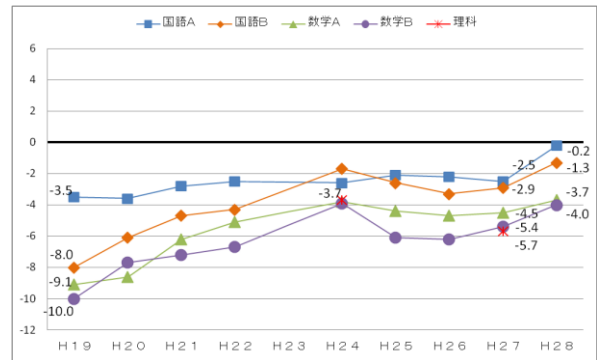
これまでの学力調査結果に見られる本県の学力の状況

I 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

小学校



中学校

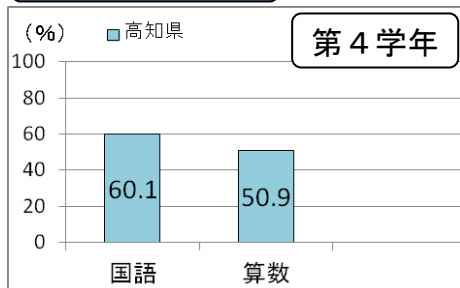


現状

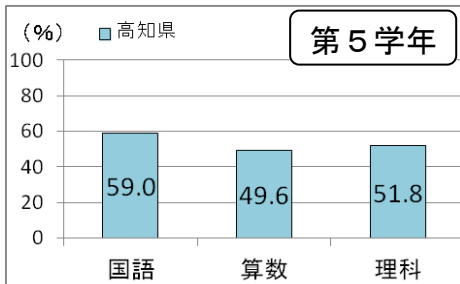
- 小学校は、国語・算数のA問題で全国平均を上回り、B問題においてもほぼ全国平均と同等の結果となっている。
- 中学校は、国語・数学とも全国平均には達してはいないものの、全国平均との差を縮めており、足踏み状態にあった学力の伸びは、その状況から脱する兆しを見せている。
- 小・中学校ともに、獲得した知識や技能を活用して課題の解決を図るような力の育成という点では、まだ十分な状況にない。

II 高知県学力定着状況調査結果（平成27年度の平均正答率）

小学校調査

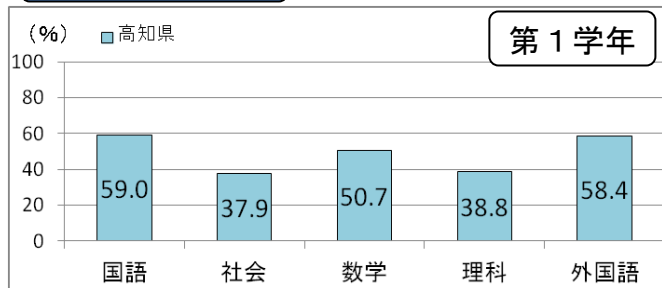


第4学年

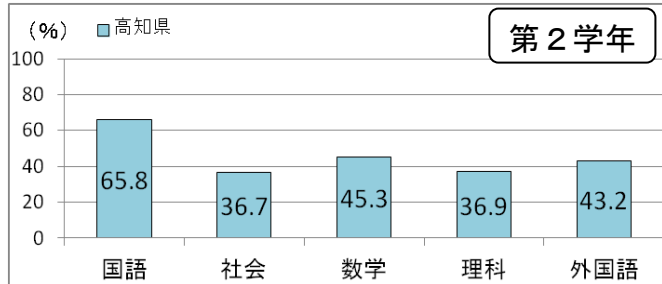


第5学年

中学校調査



第1学年



第2学年

現状

- ことわざや敬語の使い方を理解すること、関数の表・グラフを読み取ることなど、基礎的・基本的な知識や技能に関しては、改善傾向にある。
- 事実を基にして、何が言えるのか、考えられるのかを解釈することや、根拠を明確にして自分の考えを書くことなどには依然として課題がある。



2 教科に関する調査結果

小学校

<第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成28年度	62.2	59.6	43.0	28.8	81.2
	平成27年度	60.1	56.7	38.6	44.6	69.1
	平成26年度	63.5	62.0	40.9	48.7	75.3
	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成28年度	60.9	64.3	57.3	43.9	62.3
	平成27年度	50.9	46.3	58.3	39.2	50.0
	平成26年度	61.3	69.7	43.7	44.2	63.4
	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

<第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成28年度	64.5	86.9	33.4	53.5	70.2
	平成27年度	59.0	67.2	24.0	40.6	71.2
	平成26年度	51.8	39.9	31.9	34.0	63.0
	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成28年度	54.5	60.3	43.9	43.5	47.4
	平成27年度	49.6	58.0	34.9	40.3	46.0
	平成26年度	48.3	56.6	52.8	34.7	42.4
	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成28年度	56.0	48.5	55.7	60.3	58.5
	平成27年度	51.8	30.6	55.2	62.4	50.9
	平成26年度	63.0	65.2	48.2	68.8	66.3
	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成28年度	56.2	68.1	25.7	43.5	68.1
	平成27年度	59.0	54.0	38.7	58.6	61.1
	平成26年度	58.7	64.6	44.7	45.3	64.1
	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本
社会	平成28年度	35.9	32.5	48.8	37.5	37.9
	平成27年度	37.9	41.1	48.9	23.2	
	平成26年度	42.4	44.0	29.1	49.1	
	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成28年度	48.2	45.7	59.9	50.8	
	平成27年度	50.7	50.6	58.8	47.6	
	平成26年度	49.3	48.8	64.0	46.1	
	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成28年度	46.7	39.9	39.9	52.1	
	平成27年度	38.8	26.5	30.3	49.1	
	平成26年度	45.3	47.6	42.2	46.0	
	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成28年度	52.0	65.0	61.9	34.5
	平成27年度	58.4	80.0	58.1	39.1
	平成26年度	64.9	80.8	61.8	52.4
	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成28年度	55.2	65.8	29.0	43.4	65.5
	平成27年度	65.8	78.8	38.0	57.6	67.8
	平成26年度	59.0	79.6	39.4	49.8	60.6
	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成28年度	42.0	42.5	51.4	40.4	30.0
	平成27年度	36.7	41.6	42.0	32.6	30.5
	平成26年度	35.6	45.6	36.0	34.1	24.9
	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

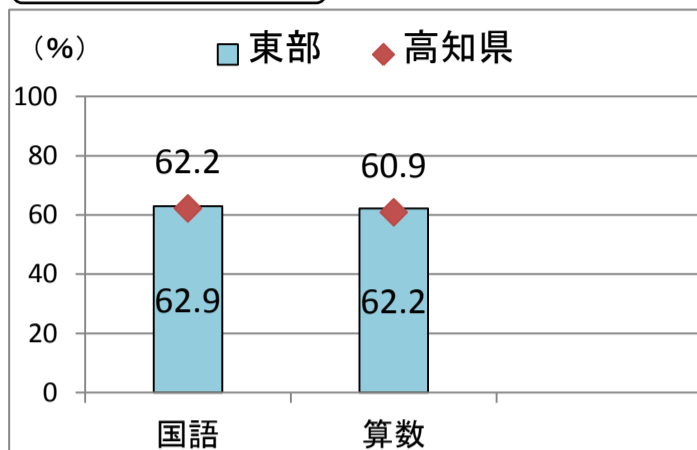
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成28年度	49.1	53.4	52.3	40.5	36.9
	平成27年度	45.3	49.9	34.3	47.4	42.8
	平成26年度	45.1	51.0	39.9	45.4	31.3
	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成28年度	42.2	49.3	40.6	41.4	37.1
	平成27年度	36.9	35.4	36.2	40.5	36.1
	平成26年度	38.0	31.0	40.9	41.6	37.7
	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

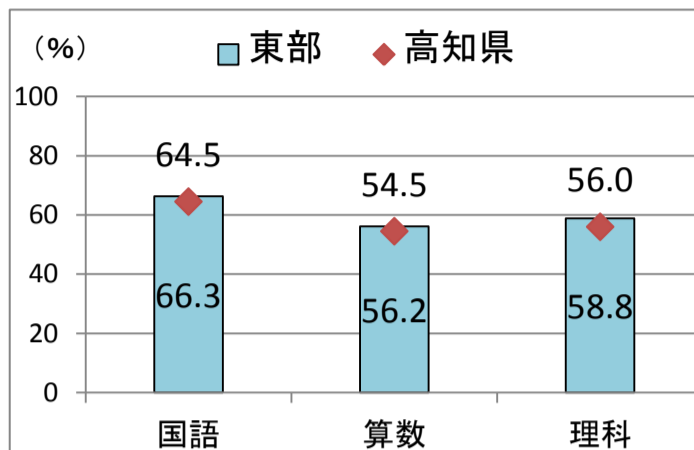
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成28年度	43.9	68.0	55.2	15.1
	平成27年度	43.2	65.9	51.1	21.0
	平成26年度	47.8	63.1	58.1	28.8
	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

東部教育事務所

小学校第4学年

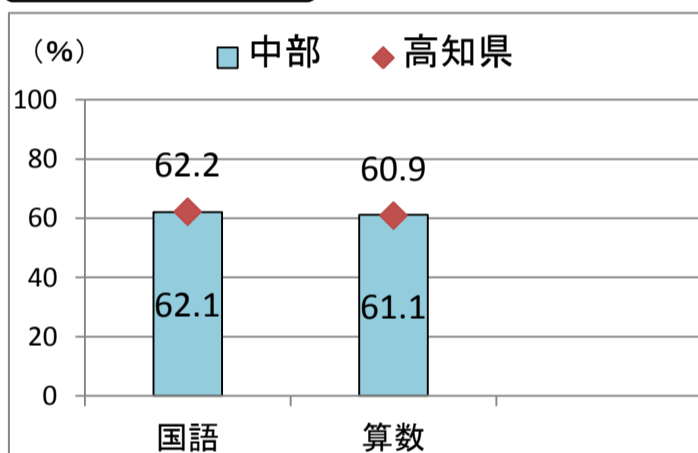


小学校第5学年

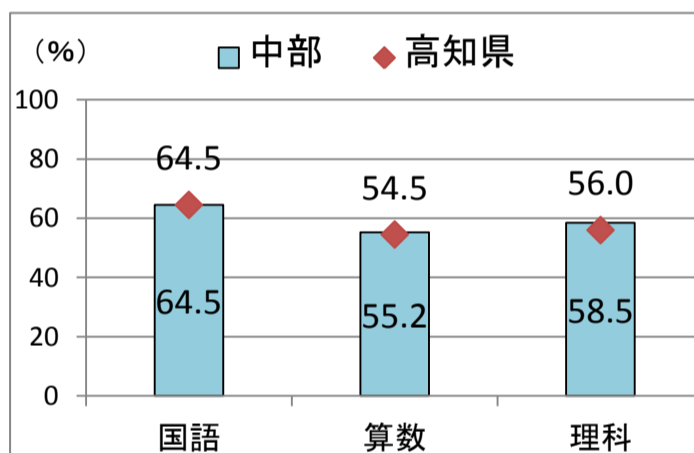


中部教育事務所

小学校第4学年

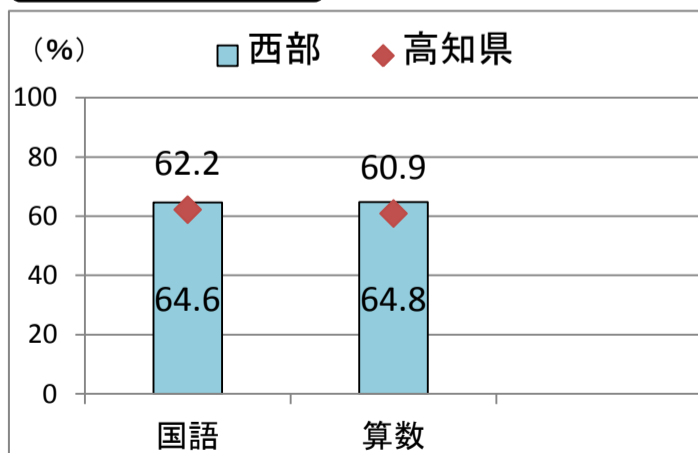


小学校第5学年

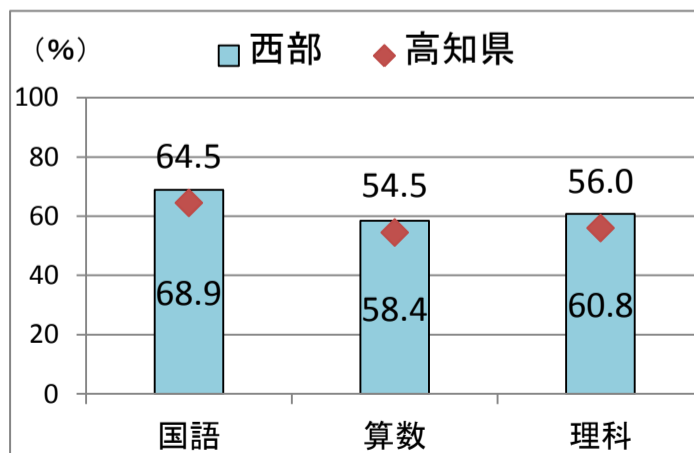


西部教育事務所

小学校第4学年

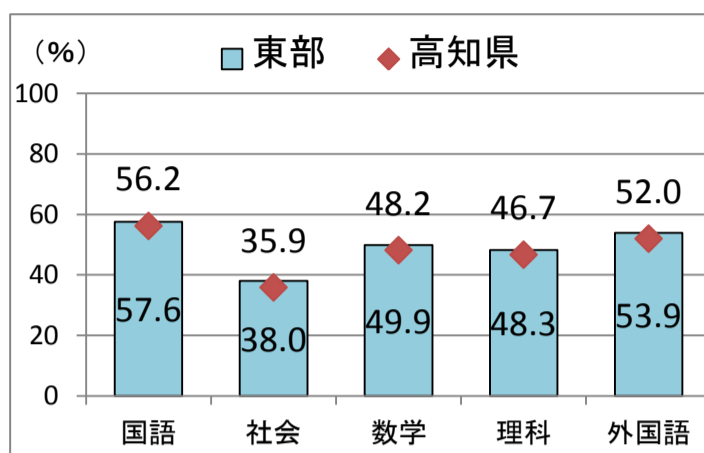


小学校第5学年

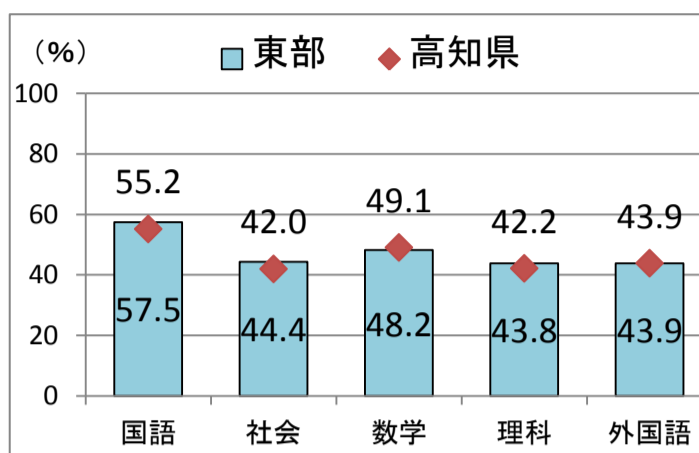


東部教育事務所

中学校第1学年

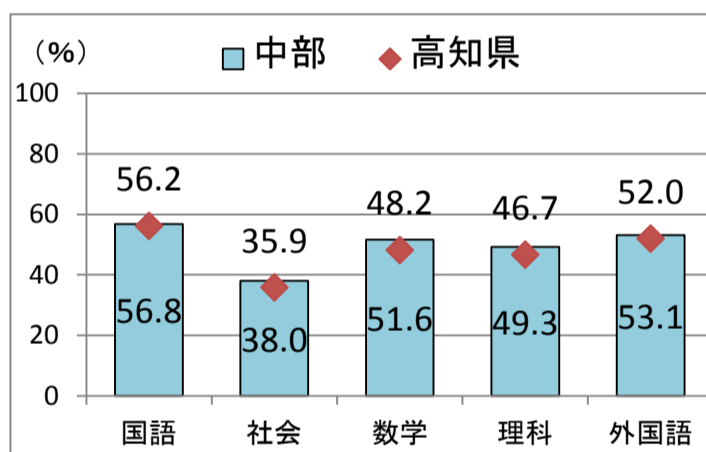


中学校第2学年

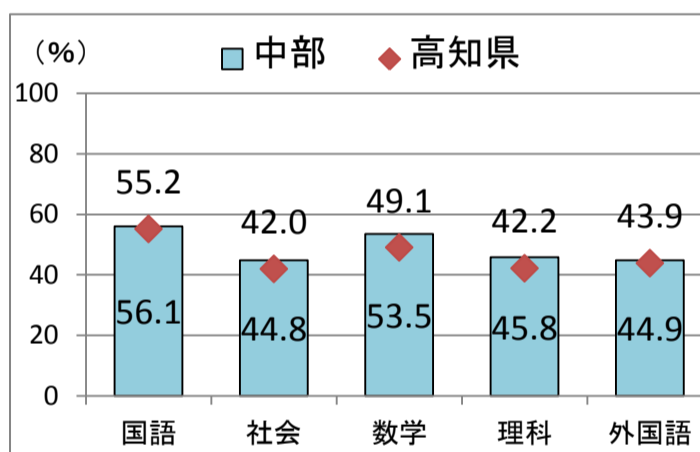


中部教育事務所

中学校第1学年

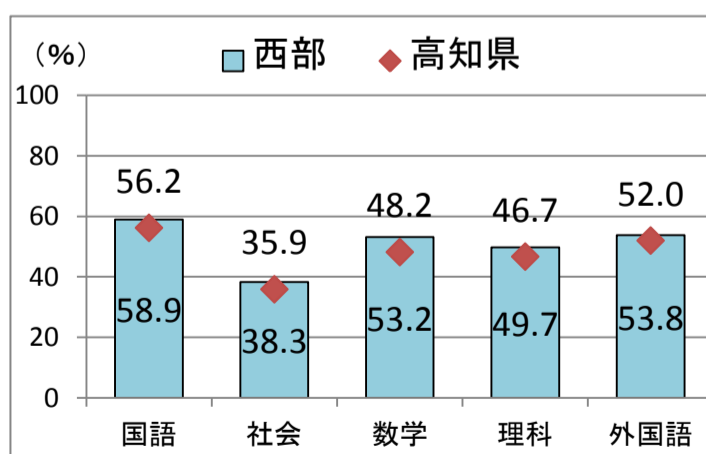


中学校第2学年

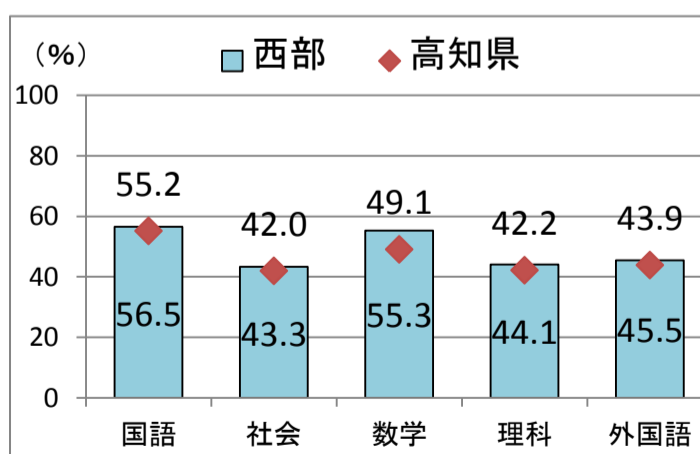


西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年

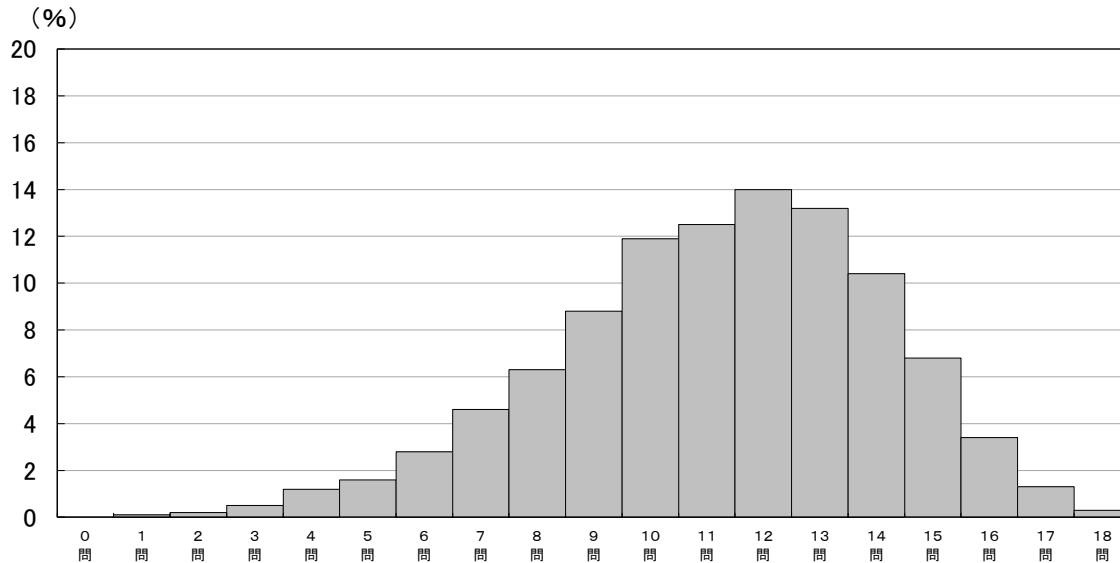


小学校国語
【分類・区別の状況】(第4学年国語)

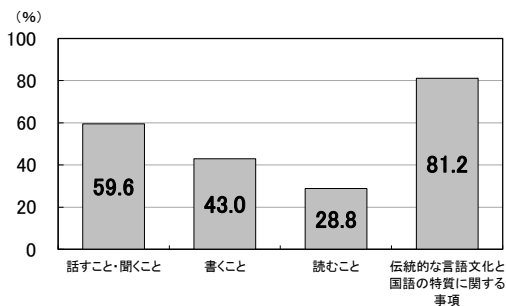
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,413	11.2 / 18	62.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.1
2問	0.2
3問	0.5
4問	1.2
5問	1.6
6問	2.8
7問	4.6
8問	6.3
9問	8.8
10問	11.9
11問	12.5
12問	14.0
13問	13.2
14問	10.4
15問	6.8
16問	3.4
17問	1.3
18問	0.3

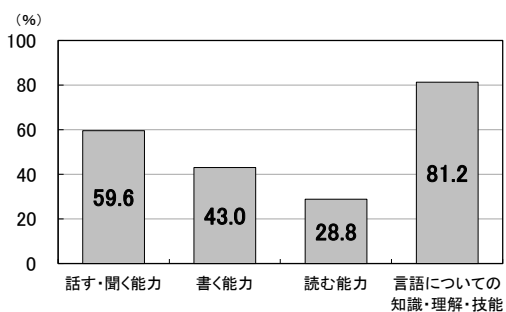
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



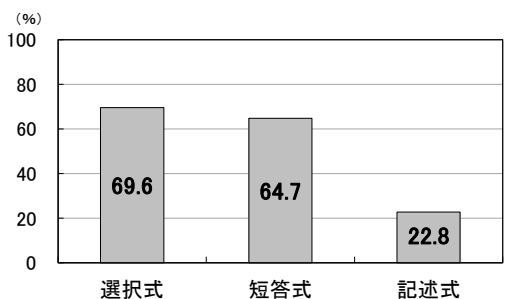
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は62.2%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・目的や必要に応じて、グラフと記事を基に、自分の考えを書くこと
- [3三 正答率23.7%、無解答率17.4%]

※左の意(一)用紙は下書き用紙なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※とせやけるをふまにいて、続けて書きましょう。

（書くこと上の注意）

30字

（へじようけん）

- グラフから分かることと、記事の内よりの両方を取り上げて書くこと。
- 文章の最後は、新聞を読む人によびかけるように書くこと。
- 五十文字以上、七十文字以内で書くこと。

三 森田さんは、「新聞の下書き」の〔まとめ〕に、インフルエンザの予防をよびかける記事を書こうとしています。あなたなら、どのように書きますか。次の（へじようけん）に合わせて書きましょう。

3 森田さんと保健室は、新聞を作ってインフルエンザの予防をよびかけることにしました。そこで、保健室の先生に話を聞いたり、自分たちで調べたりして、インフルエンザに関する情報を集めて新聞にまとめています。次は、森田さんたちが作っている「新聞の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

※学習シート等との関連

国語学習シート No.77・84・85・88・124
国語指導改善資料集 P. 10～17

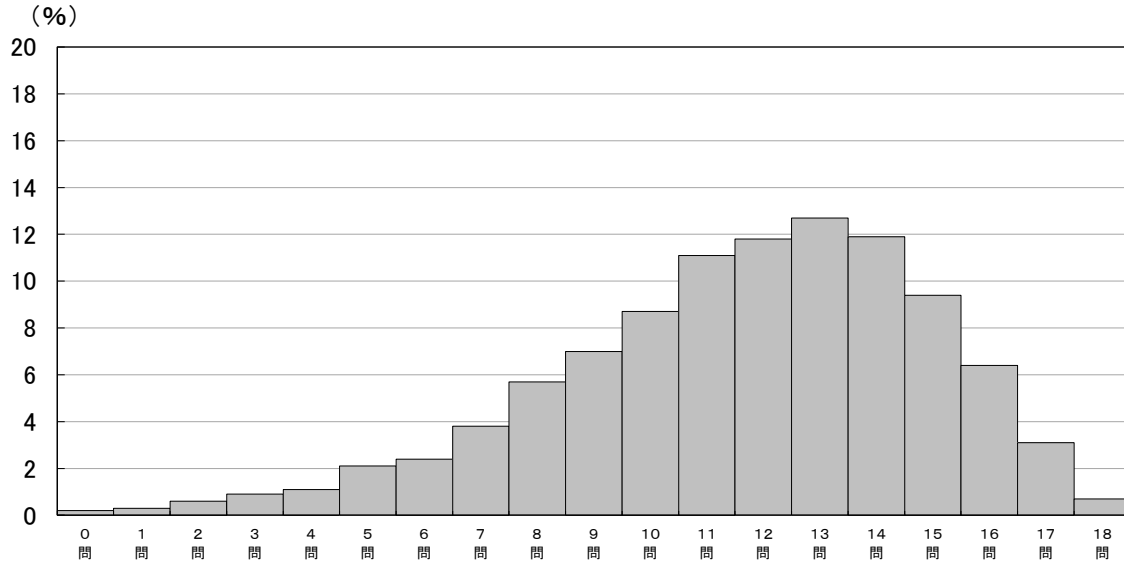
小学校国語

【分類・区別の状況】(第5学年国語)

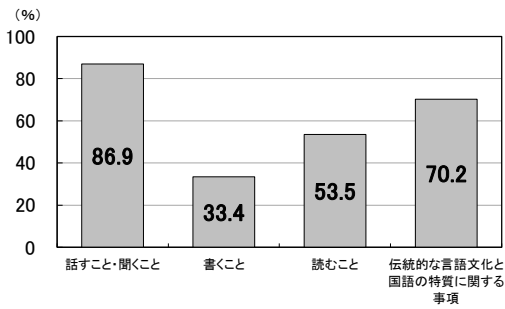
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,327	11.6 / 18	64.5

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.3
2問	0.6
3問	0.9
4問	1.1
5問	2.1
6問	2.4
7問	3.8
8問	5.7
9問	7.0
10問	8.7
11問	11.1
12問	11.8
13問	12.7
14問	11.9
15問	9.4
16問	6.4
17問	3.1
18問	0.7

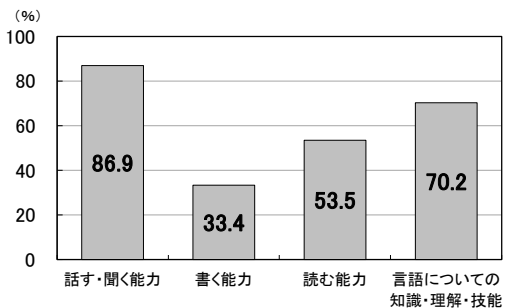
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



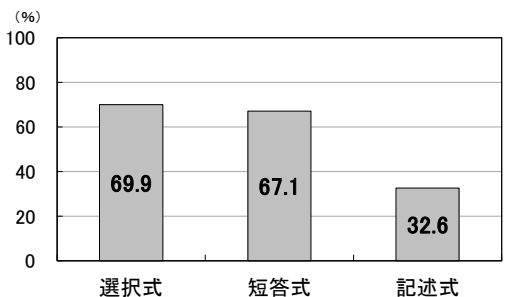
学習指導要領の領域・内容



評価の観点

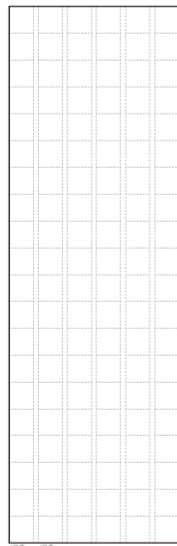


問題形式



国語の平均正答率は64.5%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・事実と意見を区別することとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること
- [2二(2) 正答率28.2%、無解答率13.7%]



大山さんは、みんなに澤山の手紙を読んでもうため、すいせん文を書きたいと考えています。次の「すいせん文の下書き」の………の部分に、あなたなら、どのように書きますか。「すいせん文の下書き」の………の部分に、あとの〈条件〉に合わせて書きましょう。

○「資料2」から澤山の手紙の書き方や考え方を取り上げて書くこと。
○澤山の手紙の書き方や考え方を、あなたが考えたことが伝わるように書くこと。
○百字以上、百二十字以内で書くこと。

この手紙は、お母さんが、お父さんやお兄さんに読んでほしい手紙です。お母さんは、お父さんやお兄さんに読んでほしい手紙の書き方や考え方を、あなたが考えたことが伝わるように書いてください。

大山さんは、お母さんが、お父さんやお兄さんに読んでほしい手紙の書き方や考え方を、あなたが考えたことが伝わるように書いてください。

大山さんは、みんなに澤山の手紙を読んでもうため、すいせん文を書きたいと考えています。次の「すいせん文の下書き」の………の部分に、あなたなら、どのように書きますか。「すいせん文の下書き」の………の部分に、あとの〈条件〉に合わせて書きましょう。

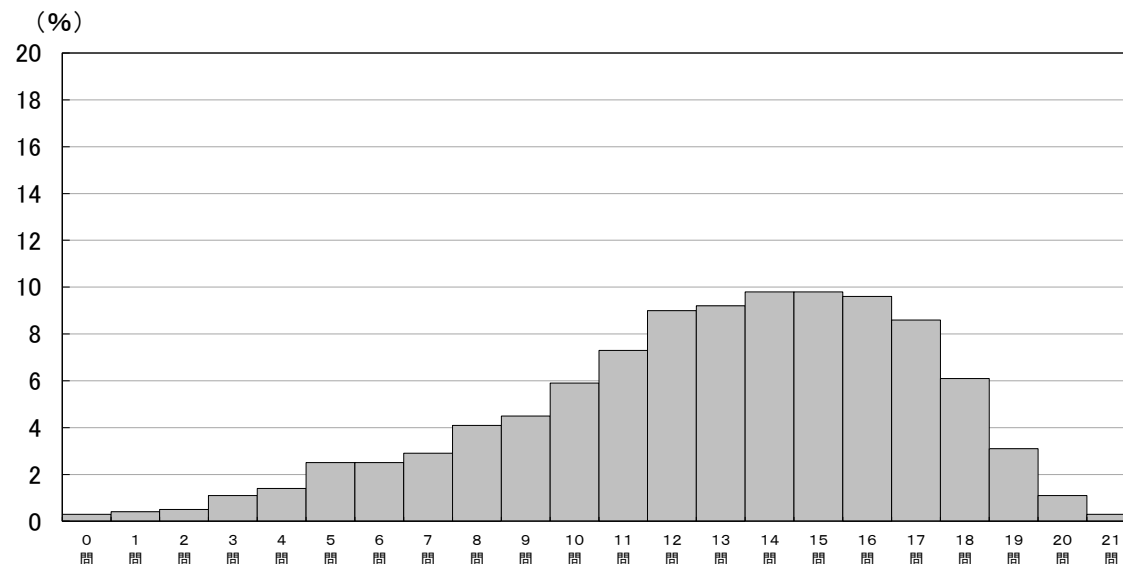
※学習シート等との関連
国語学習シート No.74・87・94
国語指導改善資料集 P. 60～67

小学校算数
【分類・区別の状況】(第4学年算数)

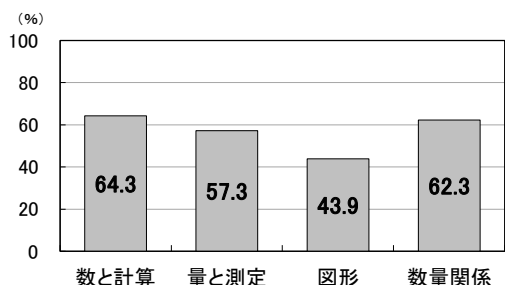
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,406	12.8 / 21	60.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.3
1問	0.4
2問	0.5
3問	1.1
4問	1.4
5問	2.5
6問	2.5
7問	2.9
8問	4.1
9問	4.5
10問	5.9
11問	7.3
12問	9.0
13問	9.2
14問	9.8
15問	9.8
16問	9.6
17問	8.6
18問	6.1
19問	3.1
20問	1.1
21問	0.3

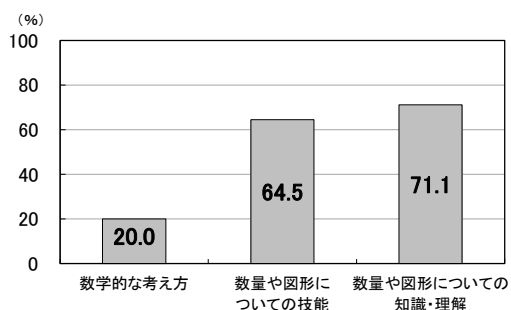
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



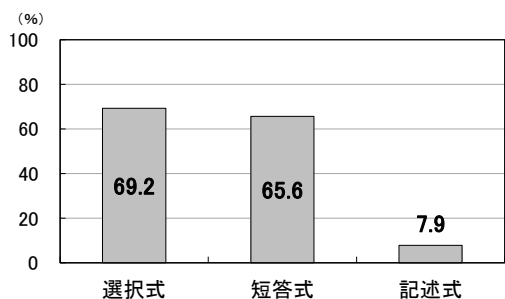
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



算数の平均正答率は60.9%で、例えば次のような課題が見られた。

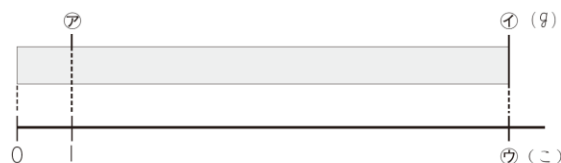
・示された場面における二つの数量の関係を図に表し、その関係を式に表すこと
[10 正答率35.3%、無解答率4.5%]

10 ビー玉のこ数と重さについて、次のことがわかっています。

同じ重さのビー玉が9こあります。
このビー玉9この重さは108gです。

ビー玉1この重さを□gとして、ビー玉のこ数と重さの関係を図に表します。下の図の①から④には、それぞれ何が入りますか。下の1から4までの中から1つえらびましょう。

また、ビー玉1この重さを□gとして、ビー玉のこ数と重さの関係を式に表しましょう。



- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | ① 9 | ② 108 | ③ □ |
| 2 | ① 108 | ② □ | ③ 9 |
| 3 | ① □ | ② 108 | ③ 9 |
| 4 | ① □ | ② 9 | ③ 108 |

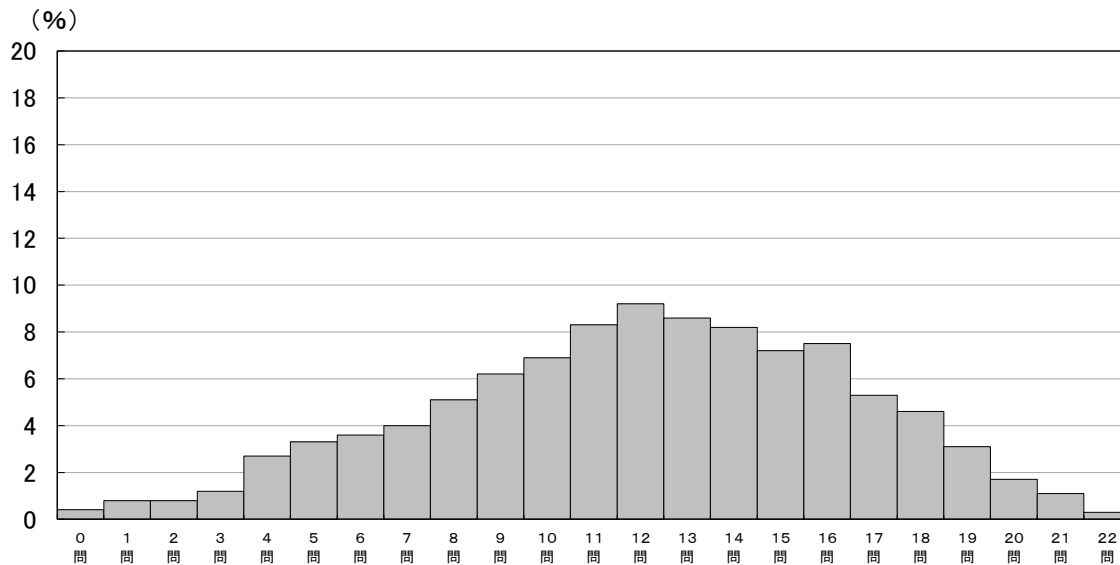
小学校算数

【分類・区別の状況】(第5学年算数)

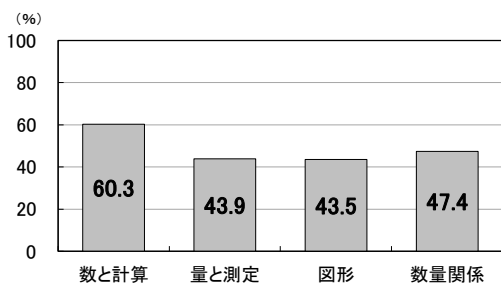
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,317	12.0 / 22	54.5

正答数 (割合(%))	
0問	0.4
1問	0.8
2問	0.8
3問	1.2
4問	2.7
5問	3.3
6問	3.6
7問	4.0
8問	5.1
9問	6.2
10問	6.9
11問	8.3
12問	9.2
13問	8.6
14問	8.2
15問	7.2
16問	7.5
17問	5.3
18問	4.6
19問	3.1
20問	1.7
21問	1.1
22問	0.3

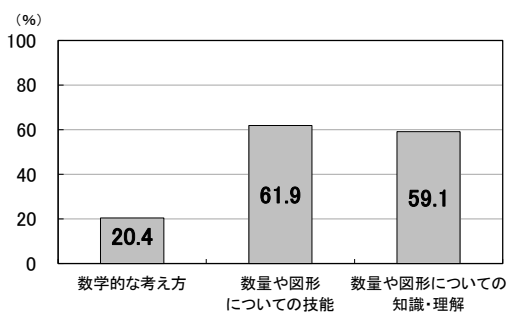
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



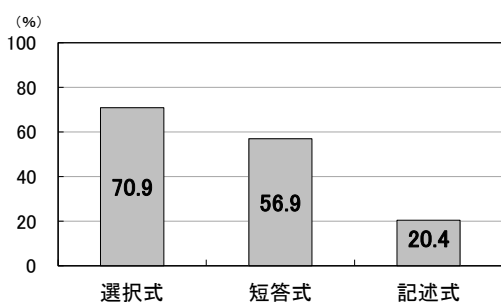
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



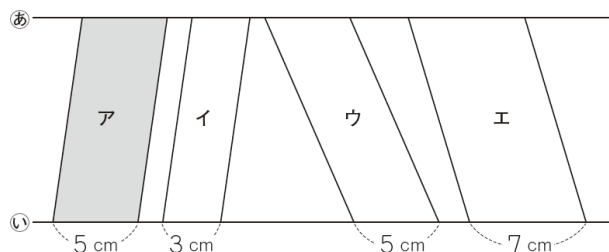
算数の平均正答率は54.5%で、例えば次のような課題が見られた。

・示された情報を基に、底辺と高さがそれぞれ等しいことを根拠に、二つの平行四辺形の面積が等しい理由を記述すること

[7 正答率30.5%、無解答率2.4%]

7 下の図の直線①と直線②は平行です。平行な直線①、②を使って、ア、イ、ウ、エの4つの平行四辺形をかきます。

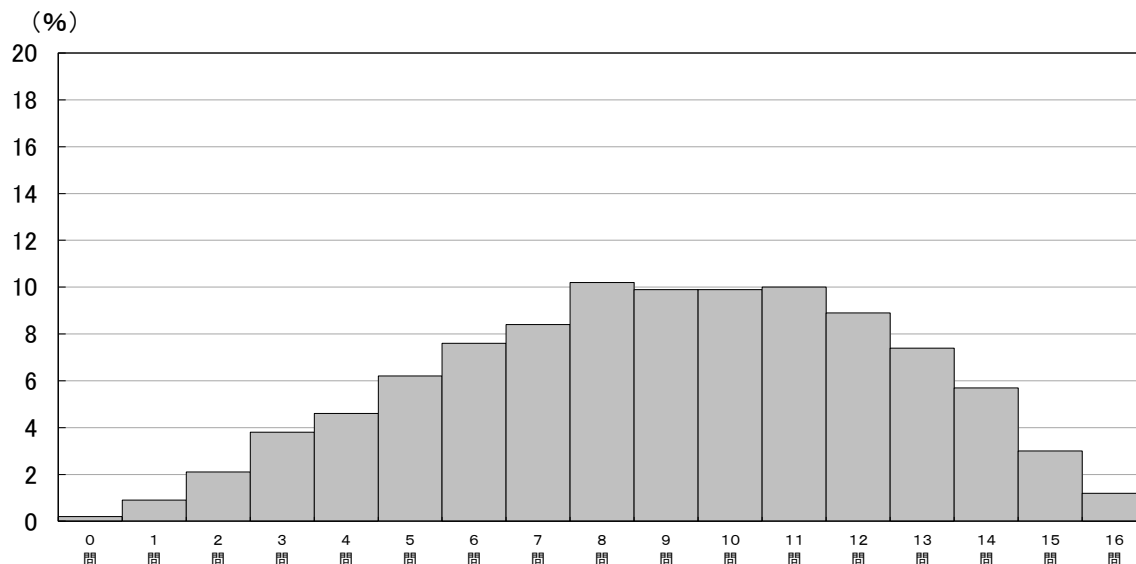
アの平行四辺形と面積が等しくなるものを、イ、ウ、エの中から1つ選びましょう。また、選んだ平行四辺形とアの平行四辺形の面積が等しくなるわけを、言葉や数を使って書きましょう。



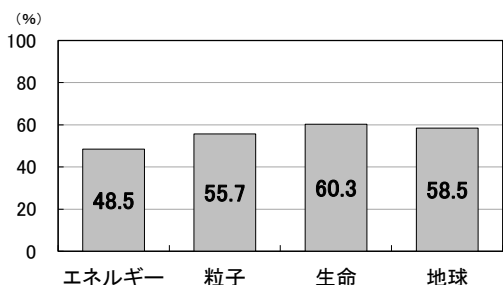
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,332	9.0 / 16	56.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.9
2問	2.1
3問	3.8
4問	4.6
5問	6.2
6問	7.6
7問	8.4
8問	10.2
9問	9.9
10問	9.9
11問	10.0
12問	8.9
13問	7.4
14問	5.7
15問	3.0
16問	1.2

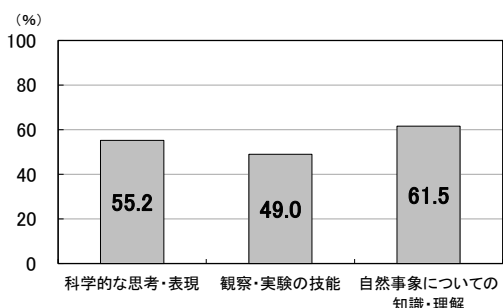
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



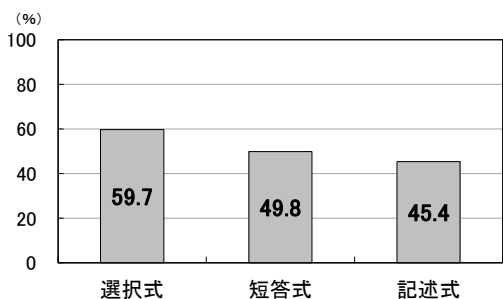
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



理科の平均正答率は56.0%で、例えば次のような課題が見られた。

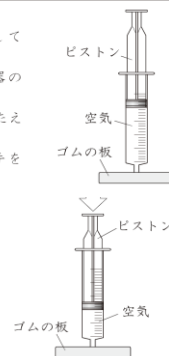
・閉じ込めた空気を押し縮めたときの体積変化と押し返す力とを関係付けて捉え、空気鉄砲の前玉が飛ぶ仕組みに当てはめて考察し、記述すること

[4(1) 正答率42.0%、無解答率3.8%]

あきこさんたちは、空気でっぼうの前玉が飛びしゅみに空気が関係しているのではないかと考え、科学教室の先生に相談し、空気でっぼうの代わりにプラスチックの注射器を使って、次の実験をしました。

【実験】

- ① 注射器の中に空気が入るようにしてピストンをさしこむ。
- ② 中の空気もれないように、注射器の先をゴムの板におしつける。
- ③ 上からピストンをゆっくりおして、手ごたえを確かめる。
- ④ ピストンをおせるだけおしたあと、手をはなす。



【結果】

- ・ピストンをおすと下がっていった。
- ・ピストンをおし下げると、手ごたえが大きくなった。
- ・ピストンをおしていた手をはなすと、ピストンは元の位置にもどった。

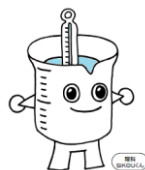
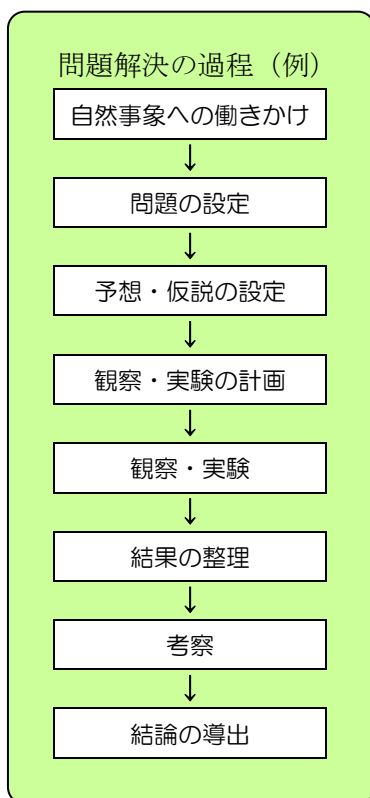
【わかったこと】

- ・とじこめた空気をおすと、空気はおしちぢめられて、体積が小さくなる。
- ・とじこめた空気をおして、体積が小さくなるほど、元にもどろうとする力は大きくなる。

(1) あきこさんは、【わかったこと】をもとに、空気でっぼうの前玉が飛びしゅみについて、考えをまとめました。そのしゅみを、「おしぼうで後玉をおすと、」に続けて書きましょ。

おしぼうで後玉をおすと、

【理科における問題解決の能力を育む学習活動】



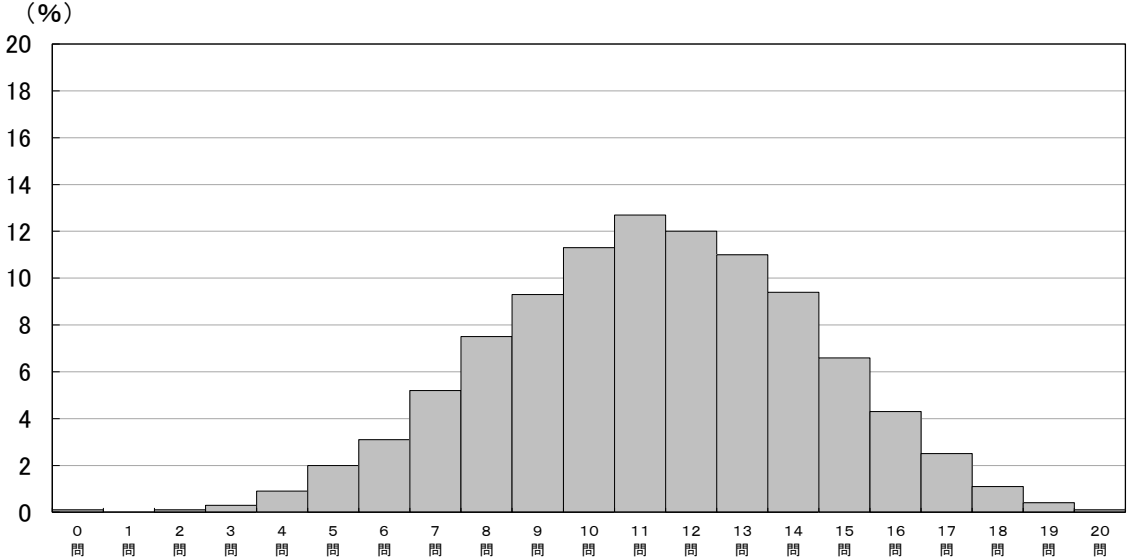
児童が問題を見いだす
など、問題解決に向けて
主体的・協働的に学ぶ学
習を充実させていきま
しょう。

中学校国語
【分類・区別の状況】(第1学年国語)

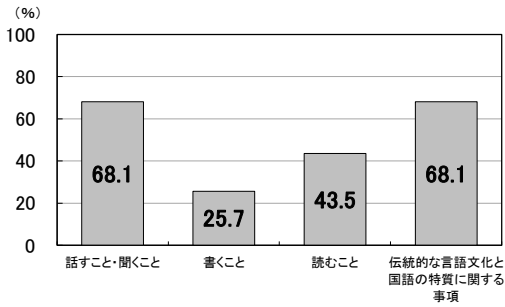
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,451	11.2 / 20	56.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.0
2問	0.1
3問	0.3
4問	0.9
5問	2.0
6問	3.1
7問	5.2
8問	7.5
9問	9.3
10問	11.3
11問	12.7
12問	12.0
13問	11.0
14問	9.4
15問	6.6
16問	4.3
17問	2.5
18問	1.1
19問	0.4
20問	0.1

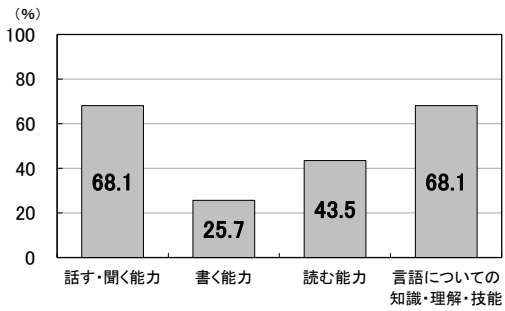
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



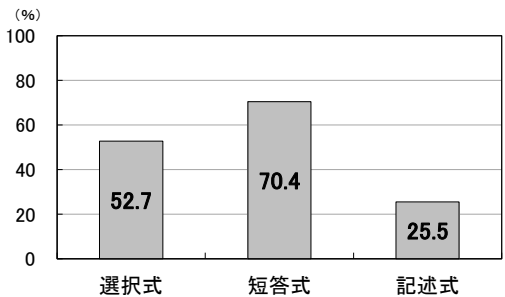
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は56.2%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを書くこと
- [2三 正答率30.5%、無解答率18.9%]

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答紙に書きます。

条件1 本文中の で囲まれた部分の内容を取り上げて書くこと。

条件2 六十字以上、八十字以内で書くこと。

書名	はじめての坂本龍馬
作者	齋藤 孝
読み始めた日	12月23日
読み終わった日	12月25日
感想	
<p>坂本龍馬に関する本を初めて読んだ。坂本龍馬の人物像や、現代に生かせる龍馬の力について書かれた本だ。特に、勝海舟を師と見抜いた察知力について書かれた章に興味を持った。</p> <p>勝海舟は、誰もが忘れてしまう人物であったといわれる。だから、師として尊敬していた者は多かったにちがいない。坂本龍馬も、その中の一入である。多くの人物に出会い、日本を変える原動力になった龍馬であるが、龍馬が海舟を自分の生涯の師としたのはなぜだろう。</p> <p>龍馬の魅力は時代を越えて、現代にも伝えられ、影響を与えている。もっと、坂本龍馬について知りたくなった。</p>	

〔読書記録〕

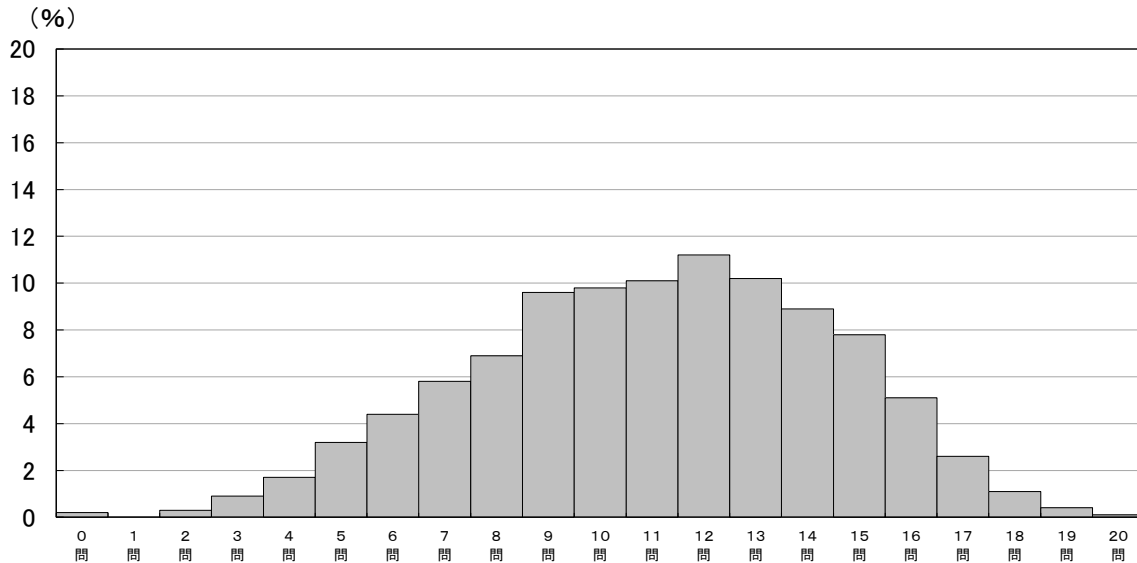
三 次は、田中さんの「読書記録」です。下欄部「龍馬が海舟を自分の生涯の師としたのはなぜだろう」とあるように、田中さんは、坂本龍馬が勝海舟を生涯の師としたことに興味をもちました。あなたなら、坂本龍馬が勝海舟を生涯の師としたのはなぜだと考えますか。あとの条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

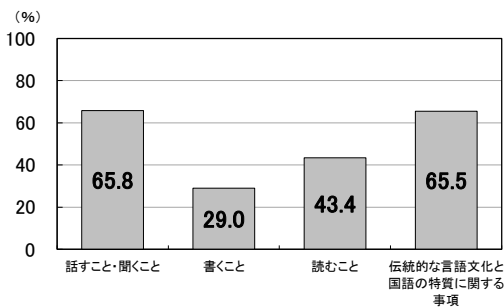
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,437	11.0 / 20	55.2

正答数 (割合(%))	割合(%)
0問	0.2
1問	0.0
2問	0.3
3問	0.9
4問	1.7
5問	3.2
6問	4.4
7問	5.8
8問	6.9
9問	9.6
10問	9.8
11問	10.1
12問	11.2
13問	10.2
14問	8.9
15問	7.8
16問	5.1
17問	2.6
18問	1.1
19問	0.4
20問	0.1

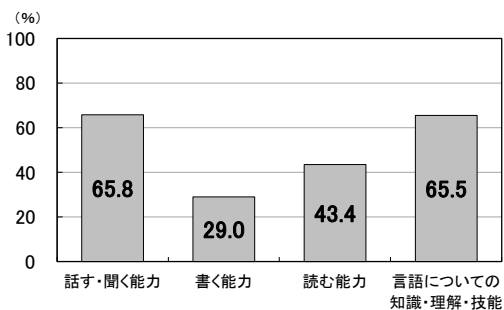
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



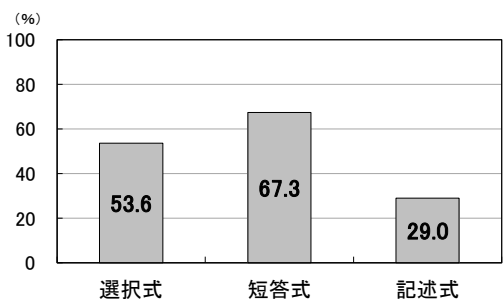
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は55.2%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
[3三 正答率27.4%、無解答率18.7%]

ア 動物の生存の権利を考えた時、人間はどのような動物と関わっていく必要があらうか、あなたの考えを、動物の生存の権利を守るためには「必要がある」とどう考えるか。
イ アのように考えた理由を、本文中の「猿神の「権利」」と「資料の二」の二つの言葉を基に、八十文字以上、百文字以内で書きなさい。



「ジャングル大奮」(宇野浩二)より

猿神の動物が何をされる一方、人間はうろ捨てられた動物園の動物たちが救済されたり、三原山の噴火で重傷を負った動物が被災したり、というニュースが毎日ママスミをむかせる。人間社会への人間に与えられた世界では、他の動物は生存の権利を失うのだ。とあるが、多くの「ジャングル大奮」では、その矛盾を強調しなかった。
だが、さういってしまえば状況にもかわらず、自然保護と人類の活動が強く続いていることは、人間のすけらしさをせざるを得ない動物の生存のための関わり合いの中で、人間(一人)人もその責任を担う自覚が湧きだすことも、まことに嬉しい。
(三三三) 手塚浩二「ジャングル大奮」(宇野浩二)

資料の一節
三 次は、池さんが、本文中の「猿神「動物の生存の権利を考えた時、人間はどのような動物と関わっていく必要があらうか、あなたの考えを、動物の生存の権利を守るためには「必要がある」とどう考えるか。」という問いに答える。人間はどのような動物と関わっていく必要があらうか、あなたの考えを、動物の生存の権利を守るためには「必要がある」とどう考えるか。という問いに答える。人間はどのような動物と関わっていく必要があらうか、あなたの考えを、動物の生存の権利を守るためには「必要がある」とどう考えるか。という問いに答える。

※学習シート等との関連

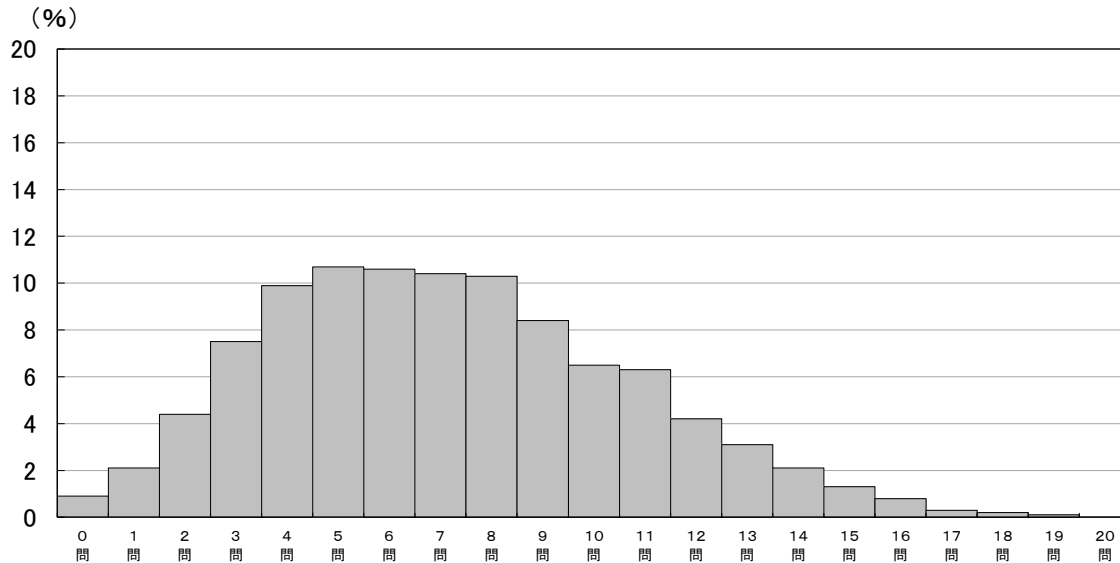
国語学習シート No.10・12・23・46・50・66
国語学習シート活用事例集 P. 13~16
国語指導改善資料集 P. 28~35

中学校社会
【分類・区別の状況】(第1学年社会)

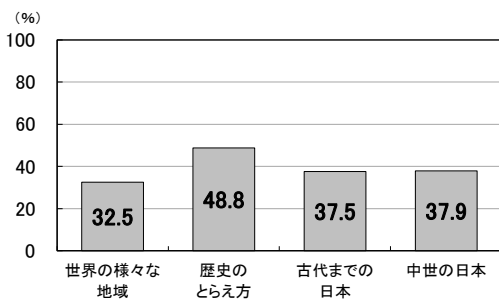
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,452	7.2 / 20	35.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	2.1
2問	4.4
3問	7.5
4問	9.9
5問	10.7
6問	10.6
7問	10.4
8問	10.3
9問	8.4
10問	6.5
11問	6.3
12問	4.2
13問	3.1
14問	2.1
15問	1.3
16問	0.8
17問	0.3
18問	0.2
19問	0.1
20問	0.0

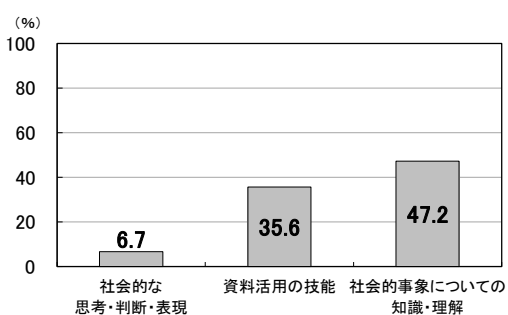
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



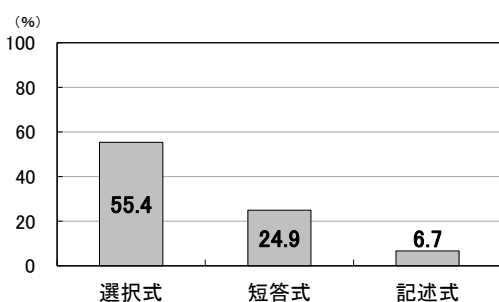
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

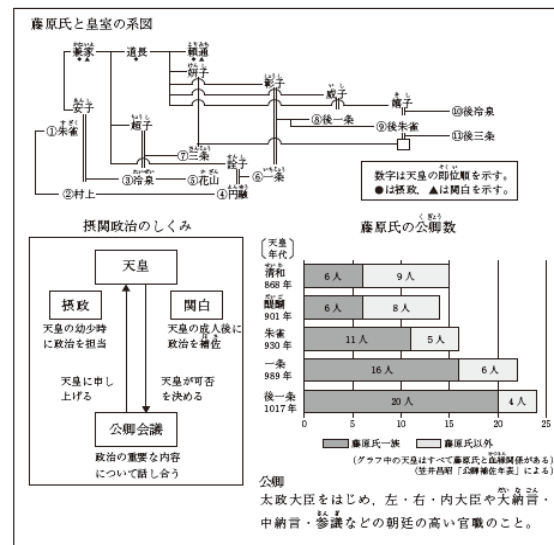


社会の平均正答率は35.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料を基に、摂関政治の特色を読み取ること
[7(2) 正答率13.7%、無解答率11.3%]

(2) 山本さんは、【略年表】のBの期間の日本のできごとの中で、藤原氏の政治について調べ、藤原氏が政治の実権をにぎった理由を、下のようによまとめました。【資料】をもとに、【まとめ】の④から⑤に当てはまる適切な語句や内容を、それぞれ書きなさい。

【資料】



【まとめ】

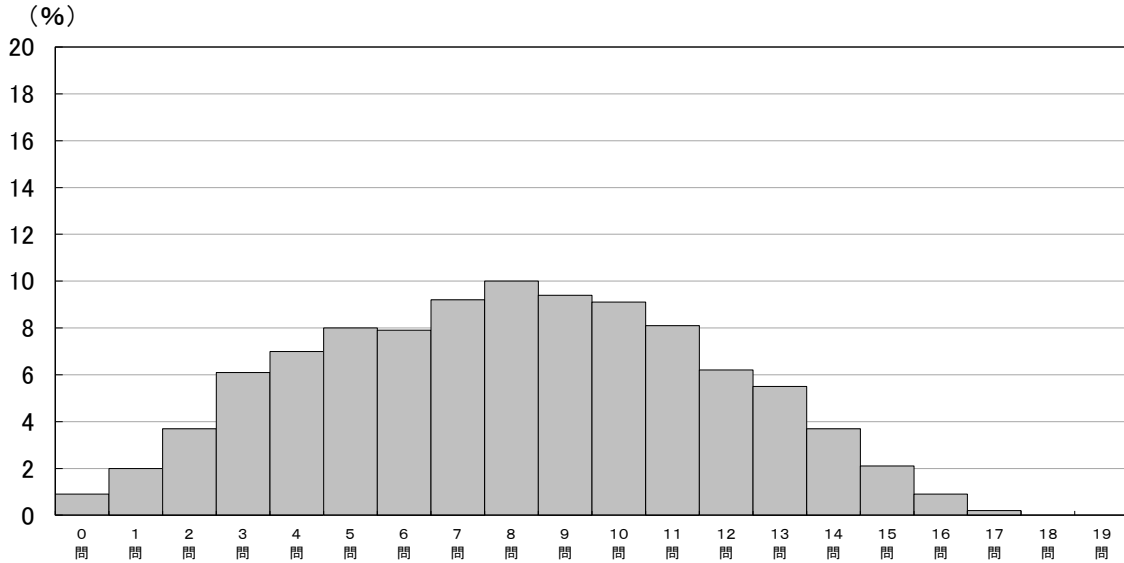
【資料】の藤原氏と皇室の系図と藤原氏の公卿数から、天皇と血縁関係を深めることで権力を拡大していることがわかる。
また、天皇が幼いときには④として、天皇が成人してからは⑤となり、天皇の代わりに政治を行っていることがわかる。
このように、朝廷の高い官職を⑤により、朝廷での発言力を強め、政治の実権をにぎっていったと考えられる。

中学校社会
【分類・区別の状況】(第2学年社会)

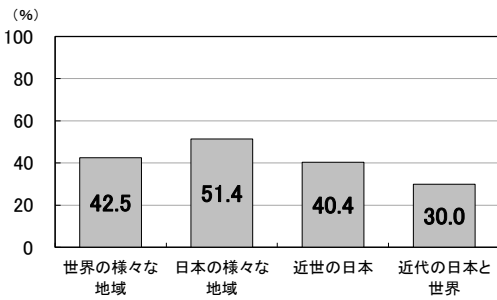
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,469	8.0 / 19	42.0

正答数 (割合(%)	
0問	0.9
1問	2.0
2問	3.7
3問	6.1
4問	7.0
5問	8.0
6問	7.9
7問	9.2
8問	10.0
9問	9.4
10問	9.1
11問	8.1
12問	6.2
13問	5.5
14問	3.7
15問	2.1
16問	0.9
17問	0.2
18問	0.0
19問	0.0

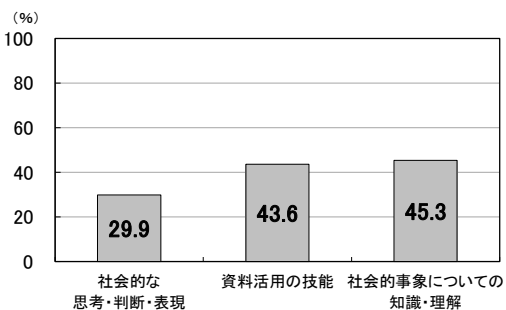
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



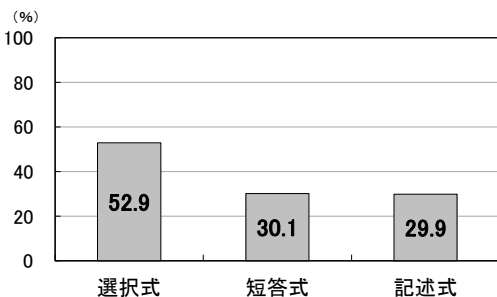
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

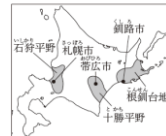


社会の平均正答率は42.0%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料を基に、北海道地方の農業の特色を、気候の特色と関連付けて説明すること
[4(2) 正答率24.5%、無解答率27.7%]

4 馬場さんは、北海道地方では、稲作、畑作、酪農のさかんな地域が分かれていることを知り、北海道の自然環境と農業の関係について調べ、下の【ノート】のように整理しています。次の(1)、(2)の各問に答えなさい。

【地図】

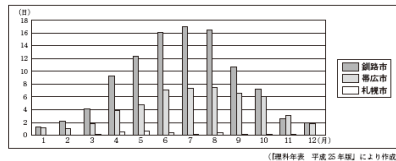


	石狩平野 札幌市	十勝平野 帯広市	根室台地 網走市
気候	<p>年平均気温 6.9℃ 年降水量 1195.5mm 1月 7月 12月</p>	<p>年平均気温 4.6℃ 年降水量 887.5mm 1月 7月 12月</p>	<p>年平均気温 4.2℃ 年降水量 1042.7mm 1月 7月 12月</p>
土地	湿潤地	→ 土壌改良 稲作農地の整備	火山灰地であり、稲作には向かない。
農家1戸あたりの耕作面積	水田 北海道 92ha (全国平均 1.2ha)	畑 北海道 220ha (全国平均 107ha)	牧草場 382ha (全国平均 11ha)
主な農産物の生産額に占める北海道の割合	米 17.9%	とうもろこし (100%) みずき (92.4%) ぶどう (77.4%)	牛乳 (51.9%)
農業の特色	3つの地域の中では、稲作の日照時間が少なく、夏の日照時間が長いことから、夏の気候が北部的な地域である。稲作には十分な日照時間は必要であるが、品種改良と土地改良によって稲作の栽培が可能となった。大型機械を導入して大規模化し、稲作が盛んになった。		

(気候は「資料1表」「平成25年版」より作成。農家1戸あたりの耕作面積は農林水産省資料による。)

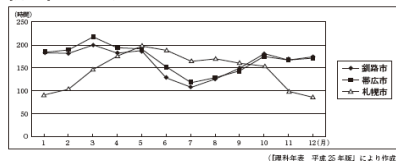
(2) 馬場さんは、【資料1】、【資料2】から読み取れる3つの地域の天候の特色をふまえ、【ノート】の農業の特色をまとめました。【ノート】の⑧には、十勝平野と根室台地の農業の特色が入ります。石狩平野の農業の特色を参考に、⑨に当てはまる適切な内容を書きなさい。

【資料1】網走市・帯広市・札幌市の日の数の月別平年値



(資料1表「平成25年版」より作成)

【資料2】網走市・帯広市・札幌市の月別日照時間



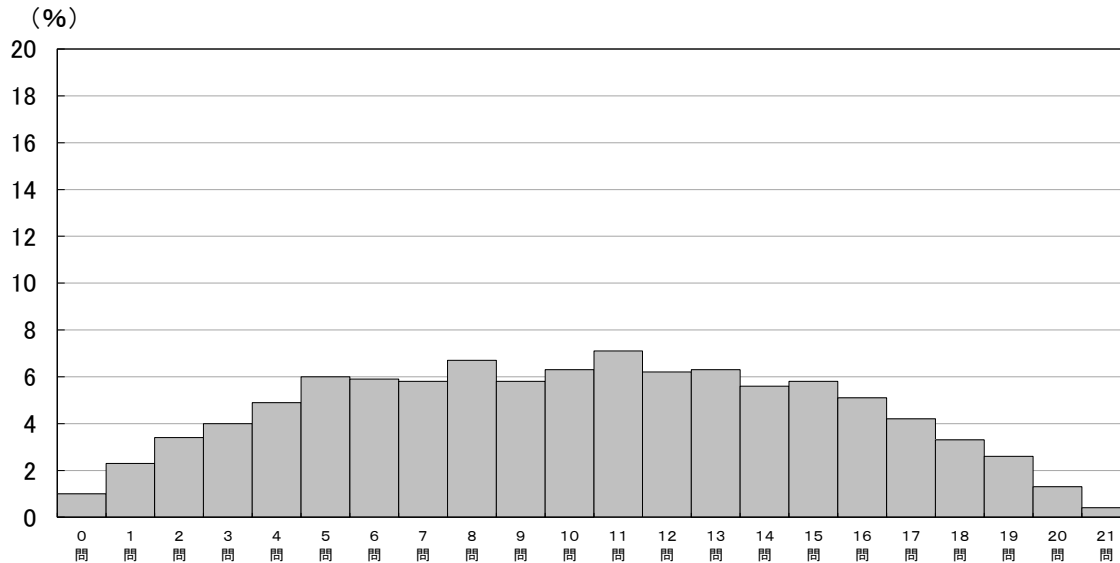
(資料2表「平成25年版」より作成)

中学校数学
【分類・区別の状況】(第1学年数学)

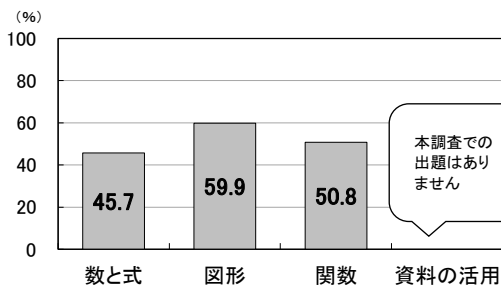
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,451	10.1 / 21	48.2

正答数 (割合(%))	
0問	1.0
1問	2.3
2問	3.4
3問	4.0
4問	4.9
5問	6.0
6問	5.9
7問	5.8
8問	6.7
9問	5.8
10問	6.3
11問	7.1
12問	6.2
13問	6.3
14問	5.6
15問	5.8
16問	5.1
17問	4.2
18問	3.3
19問	2.6
20問	1.3
21問	0.4

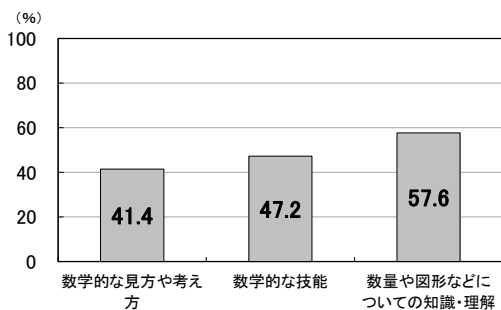
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



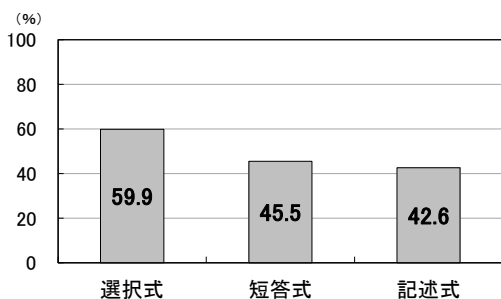
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



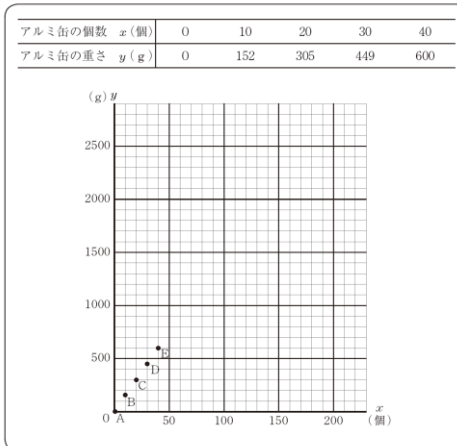
問題形式



数学の平均正答率は48.2%で、例えば次のような課題が見られた。
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること
[8(2) 正答率33.7%、無解答率11.3%]

- ⑧ 大樹さんは、アルミ缶を集めて、換金したお金を寄付する活動を行っています。そこで、実際に集めたアルミ缶の重さを量り、アルミ缶の個数と重さの関係を調べました。その結果を、下の表のようにまとめ、アルミ缶 x 個のときの重さを y (g) として、グラフに表しました。

調べた結果



- (2) 大樹さんは、集めたアルミ缶の個数が200個になったとき、どれくらいの重さになるかを考えています。
アルミ缶200個の重さを求めるために、調べた結果のグラフにおいて、アルミ缶の個数と重さの関係を表す点Aから点Eまでのすべての点が一直線上にあると考えることにします。
このとき、アルミ缶200個の重さを求める方法を、下のア、イのどちらかを用いて説明することができます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いてアルミ缶200個の重さを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んでかまいません。

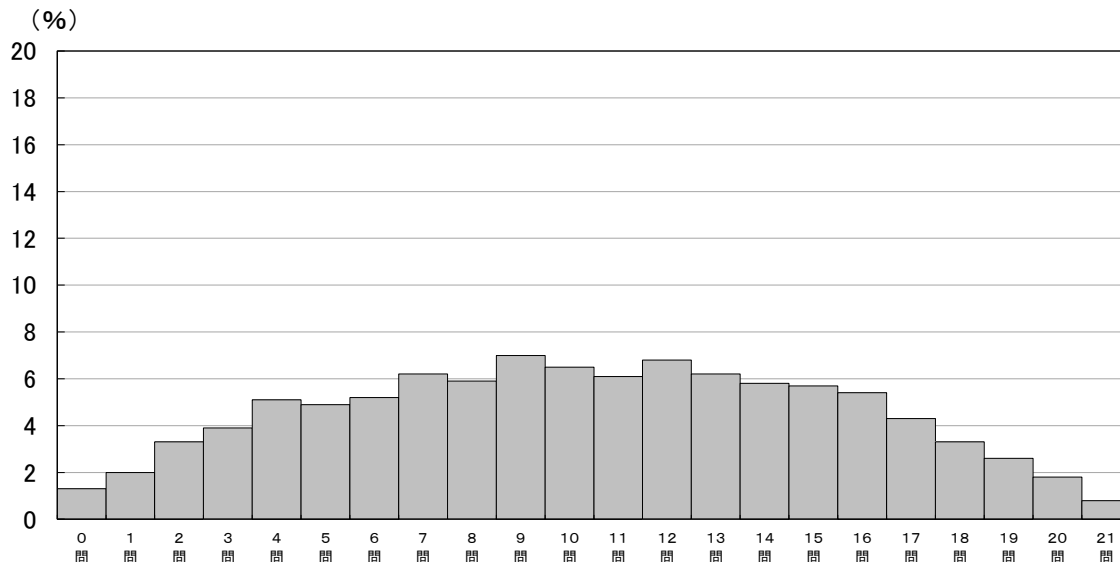
- ア アルミ缶の個数と重さの表
イ アルミ缶の個数と重さのグラフ

中学校数学
【分類・区別の状況】(第2学年数学)

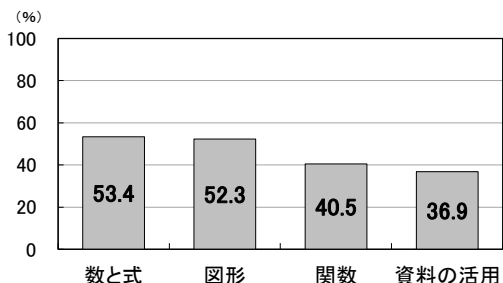
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,453	10.3 / 21	49.1

正答数 (割合(%))	
0問	1.3
1問	2.0
2問	3.3
3問	3.9
4問	5.1
5問	4.9
6問	5.2
7問	6.2
8問	5.9
9問	7.0
10問	6.5
11問	6.1
12問	6.8
13問	6.2
14問	5.8
15問	5.7
16問	5.4
17問	4.3
18問	3.3
19問	2.6
20問	1.8
21問	0.8

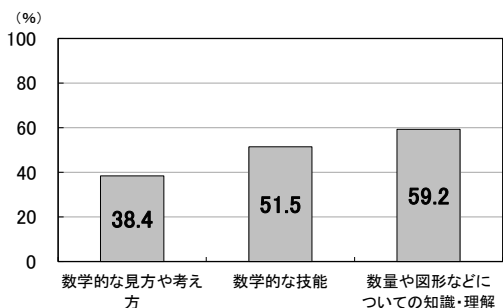
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



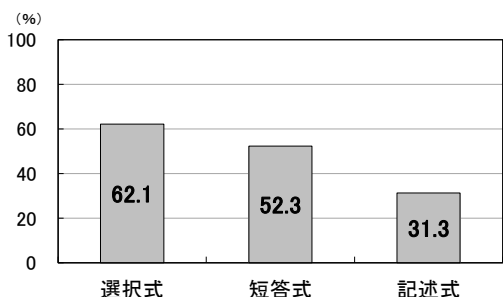
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



数学の平均正答率は49.1%で、例えば次のような課題が見られた。

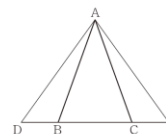
・方針に基づいて証明すること

[8(1) 正答率24.0%、無解答率23.0%]

8 海斗さんは、次の問題を考えています。

問題

AB=ACである二等辺三角形ABCがあります。底辺BCを頂点Bの方に延長した直線上に点D、底辺BCを頂点Cの方に延長した直線上に点Eを、BD=CEとなるようにそれぞれとります。このとき、AD=AEとなることを証明しなさい。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 海斗さんは、次のような証明の方針を考えました。この証明の方針にもとづいて、AD=AEとなることを証明することができます。

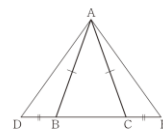
証明の方針

① AD=AEであることを証明するためには、 $\triangle ADB \cong \triangle AEC$ を示せばよい。

② $\triangle ADB$ と $\triangle AEC$ の辺や角について、等しいことがわかるものを探せばよい。

まず、仮定から、 $AB=AC$ 、 $BD=CE$ がわかっている。

③ ②を使うと $\triangle ADB \cong \triangle AEC$ が示せそうだ。



前ページの証明の方針にもとづいて、AD=AEとなることの証明を完成しなさい。

証明

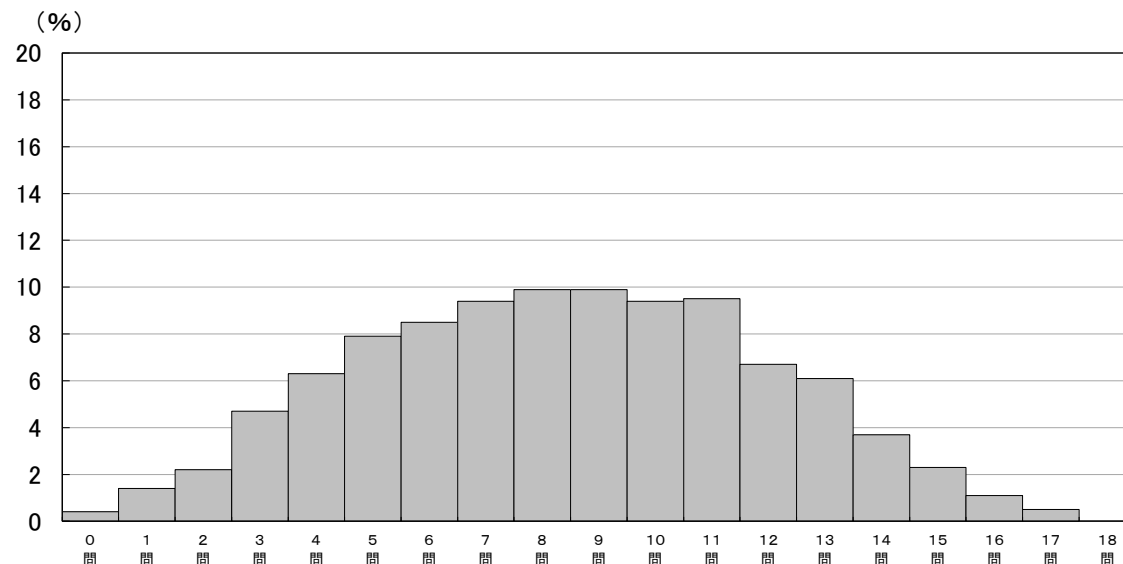
$\triangle ADB$ と $\triangle AEC$ において、

合同な三角形の対応する辺は等しいから、
AD=AE

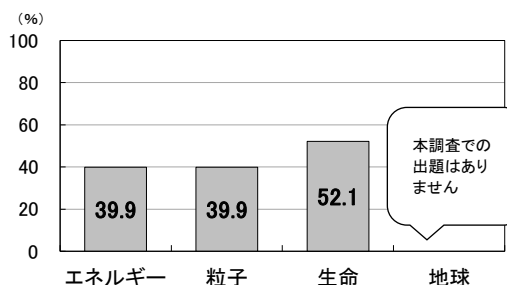
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,448	8.4 / 18	46.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.4
1問	1.4
2問	2.2
3問	4.7
4問	6.3
5問	7.9
6問	8.5
7問	9.4
8問	9.9
9問	9.9
10問	9.4
11問	9.5
12問	6.7
13問	6.1
14問	3.7
15問	2.3
16問	1.1
17問	0.5
18問	0.0

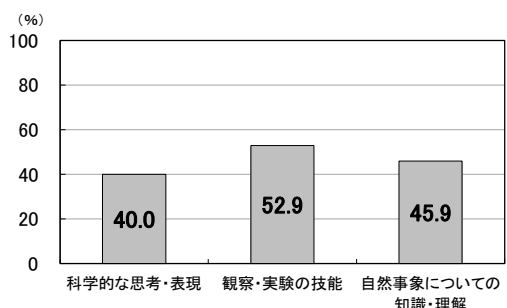
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



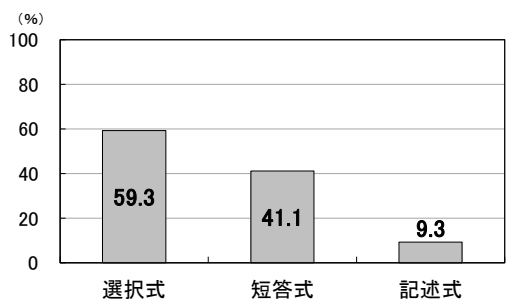
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



理科の平均正答率は46.7%で、例えば次のような課題が見られた。

・実験結果を基に、音を伝えるものと音の伝わり方について説明すること
[4(2) 正答率11.6%、無解答率20.1%]

4 里史さんは、水の入ったグラスをたたくと、水面が振動することや、水の量によって音の高さが変わることに関心を持ち、音の伝わり方や高さについて調べることにしました。次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

里史さんは、音の伝わり方を調べる実験を行いました。

レポート1の一部

課題1
音はどのようにして伝わるのだろうか。

【方法1】
① おんさAをたたき、おんさAの音の波形をコンピュータで調べる(図1)。
② 同じ高さの音が出るおんさAとおんさBを用意し、おんさAをたたき(図2)、おんさBの音の波形を①と同じ設定のコンピュータで調べる。

【結果1】
① おんさAの波形
② おんさBの波形

【方法2】
ガラス容器の中にスイッチを入れて音が鳴っているブザーを入れ、ガラス容器を密閉する。その後、ガラス容器の中の空気を真空ポンプで徐々にぬいていく(図5)。

【結果2】
空気を徐々にぬいていくとブザーの音がだんだん小さくなり、音が聞こえなくなった。

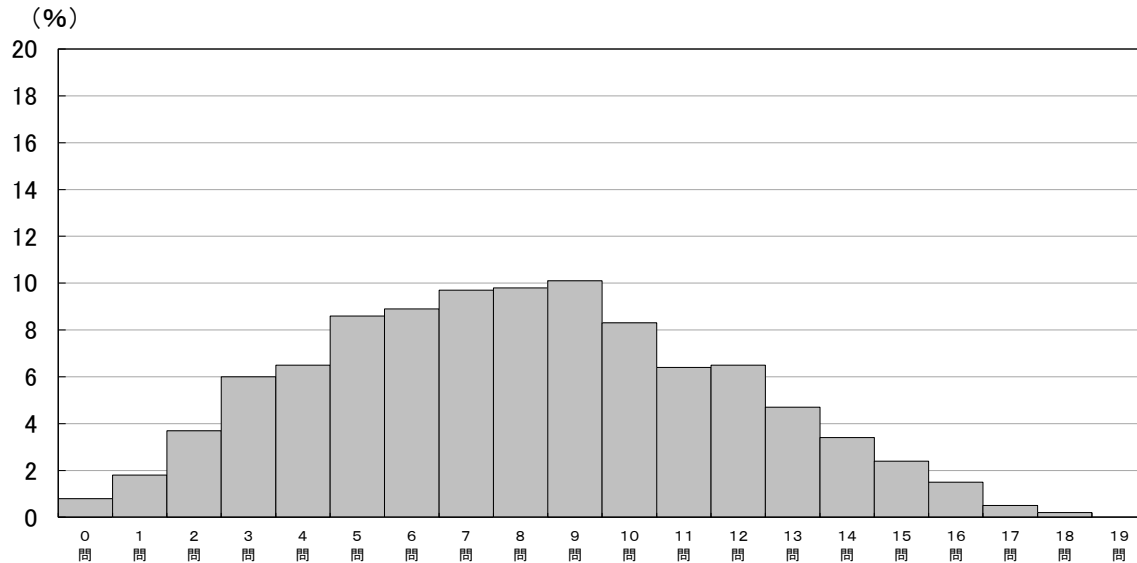
(2) 【結果1】の②を見ると、【方法1】の②で、おんさBから音が出たことがわかります。【結果2】をもとに、その理由を書きなさい。

中学校理科
【分類・区別の状況】(第2学年理科)

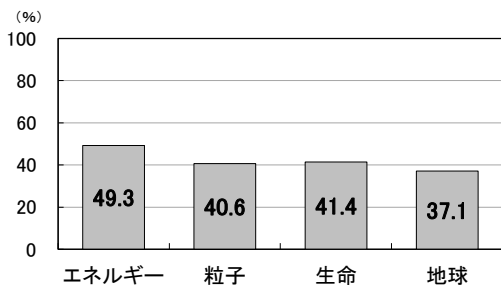
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,475	8.0 / 19	42.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.8
1問	1.8
2問	3.7
3問	6.0
4問	6.5
5問	8.6
6問	8.9
7問	9.7
8問	9.8
9問	10.1
10問	8.3
11問	6.4
12問	6.5
13問	4.7
14問	3.4
15問	2.4
16問	1.5
17問	0.5
18問	0.2
19問	0.0

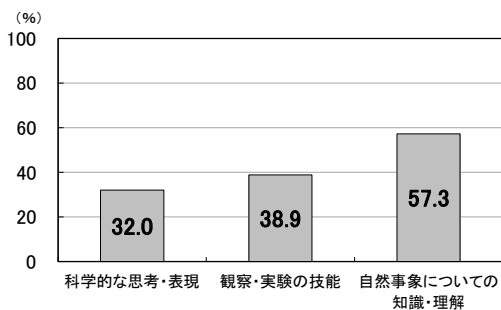
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



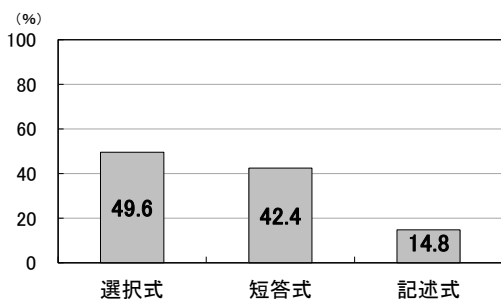
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



理科の平均正答率は42.2%で、例えば次のような課題が見られた。

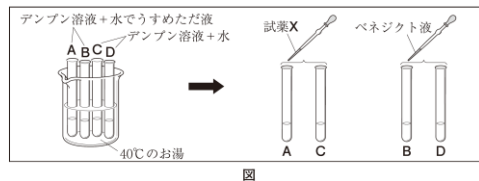
・消化液の働きと温度の関係を調べる対照実験を計画すること

[3(5) 正答率25.9%、無解答率3.7%]

ノートの一部

【方法】

- AからDの4本の試験管に同じ濃度のデンプン溶液を同量入れ、AとBに水でうすめただ液を1cm³ずつ、CとDに水を1cm³ずつ入れ、よく混ぜるように試験管をふる。
- ①のAからDの4本の試験管を40℃のお湯につけ、10分間温める。
- ②のAとCの試験管に、デンプンと反応すると青紫色を示す試薬Xを入れ、色の変化を見る。
- ④のBとDの試験管に、糖と反応すると赤褐色を示すベネジクト液を入れ、qして、色の変化を見る。



【結果】

	試薬Xの色	ベネジクト液の色
デンプン溶液と水でうすめただ液	A 茶褐色	B 赤褐色
デンプン溶液と水	C 青紫色	D 青色

* 試薬Xのものは茶褐色、ベネジクト液のものは青色

【考察】

AとCの色の変化から、r。また、BとDの色の変化から、s。これらのうち、だ液が入っているAとBに着目すると、だ液には、デンプンを糖に変えるはたらきがあるといえる。

次に、桜さんは、どのようなときにだ液ははたらくのかを確かめるため、温度以外の条件を同じにして、温度によるだ液のはたらきを調べる実験を計画しました。

- (5) だ液が40℃でよくはたらくと予想したとき、その予想を確かめるために設定する温度として最も適切なものを、下のアからウまでの中から1つ選びなさい。また、選んだ理由を書きなさい。

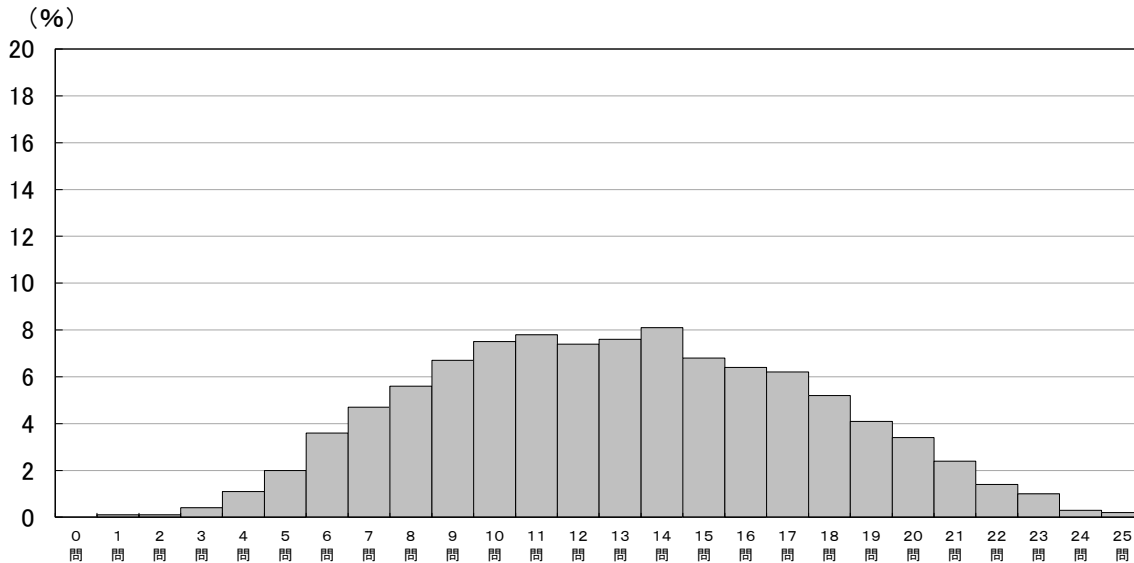
- ア 20℃ 30℃ 40℃
イ 30℃ 40℃ 50℃
ウ 40℃ 50℃ 60℃

中学校外国語(英語)
【分類・区別の状況】(第1学年外国語(英語))

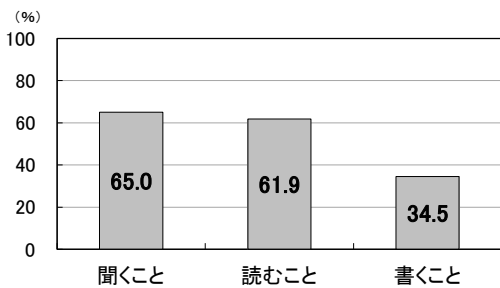
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,457	13.0 / 25	52.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.4
4問	1.1
5問	2.0
6問	3.6
7問	4.7
8問	5.6
9問	6.7
10問	7.5
11問	7.8
12問	7.4
13問	7.6
14問	8.1
15問	6.8
16問	6.4
17問	6.2
18問	5.2
19問	4.1
20問	3.4
21問	2.4
22問	1.4
23問	1.0
24問	0.3
25問	0.2

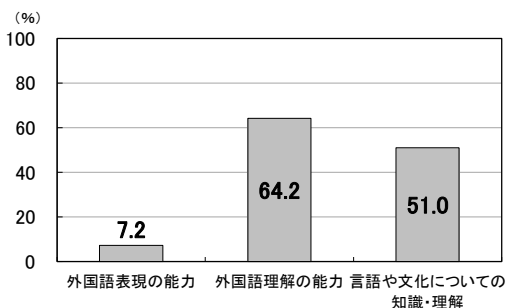
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



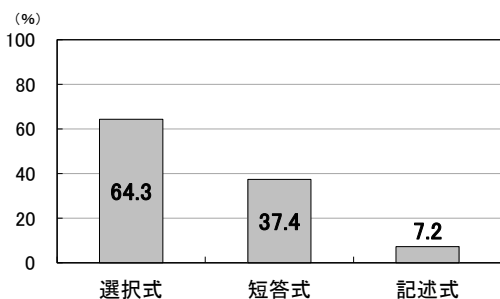
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



外国語(英語)の平均正答率は52.0%で、例えば次のような課題が見られた。
・資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書くこと
[12(3) 正答率12.1%、無解答率34.8%]

12 ケンタ(Kenta)とユキコ(Yukiko)は、ALTのジョーンズ(Ms. Jones)先生と一緒によさこいおどりの練習をしています。ほかのALTの先生にもよさこい祭り(The Yosakoi Festival)への参加を呼びかけるメッセージカードを作ることになりました。次の【2人の会話】をもとに、書く内容の順を考え、【メッセージカード】の(1)から(3)の順にそれぞれ適切な英文で書き、【メッセージカード】を完成させなさい。

【メッセージカード】

The Yosakoi Festival

Hello!
Do you know The Yosakoi Festival? It's a dance festival.
Many people dance in the festival every year.

(1).....
(2).....
(3).....

From Kenta and Yukiko

【2人の会話】

高知のよさこい祭りの紹介として、まず、たくさんの方が毎年おどることは、辞書で調べた「おどる dance(s)」を使って表現できたね。次に、高知では多くの方がよさこい祭りが大好きなことを書きましょう。

Yukiko

そうだね、そのあとに、ジョーンズ先生が、毎週日曜日におどりを練習していることを書こうよ。

Kenta

そうね、最後に、一緒に楽しもうと書いて、メッセージを完成させましょう。

Yukiko

※学習シート等との関連
英語ライティングシート

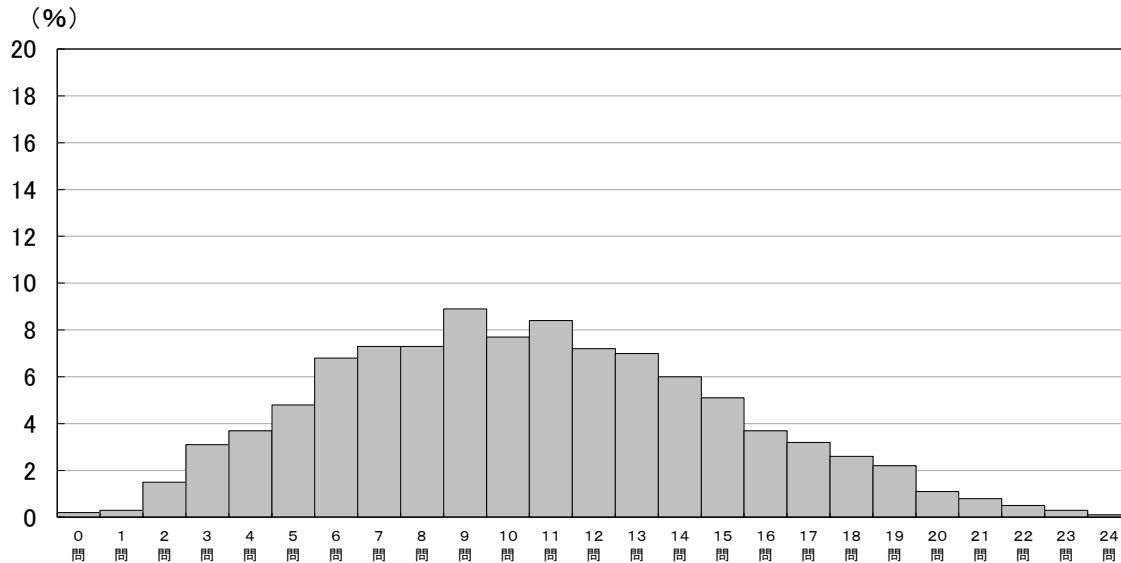
Ⅲテーマ作文編1年生P. 243~260
高知県語彙検定KOCHI Core-tan 高知これ単
P. 34 P.69 P.81~82 P.136
高知県中学校英語副読本Discover Kochi
P. 26~27 P. 42~43

中学校外国語(英語)
【分類・区別の状況】(第2学年外国語(英語))

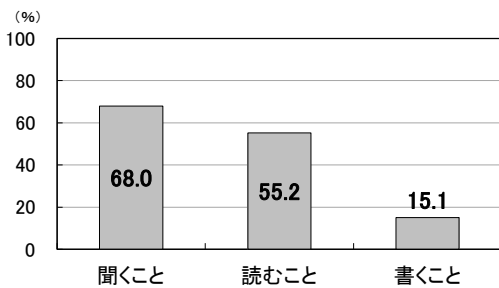
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,469	10.5 / 24	43.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.3
2問	1.5
3問	3.1
4問	3.7
5問	4.8
6問	6.8
7問	7.3
8問	7.3
9問	8.9
10問	7.7
11問	8.4
12問	7.2
13問	7.0
14問	6.0
15問	5.1
16問	3.7
17問	3.2
18問	2.6
19問	2.2
20問	1.1
21問	0.8
22問	0.5
23問	0.3
24問	0.1

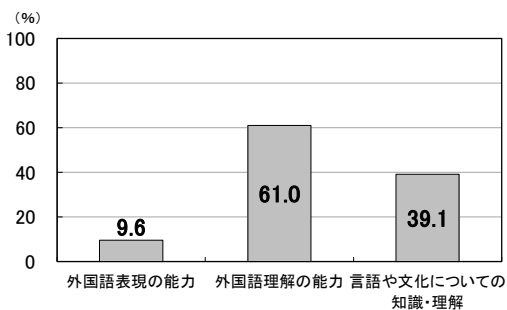
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



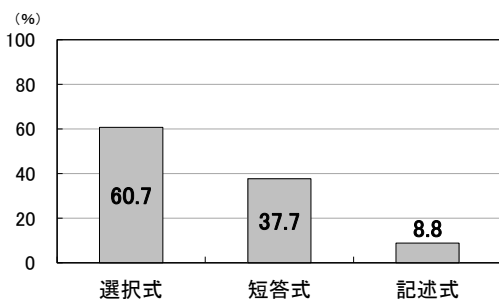
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



外国語(英語)の平均正答率は43.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること
【9(2)① 正答率13.6%、無解答率29.0%】

⑨ 留学生のテッド(Ted)とケンタ(Kenta)は、休日の過ごし方について、次の【メールⅠ】と【メールⅡ】のように、連絡を取り合っています。これらを読んで、次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(2) テッドとケンタは、春休みに日曜りでMidori-machiに行くことにしました。あなたがケンタなら、【メールⅠ】と【メールⅡ】に書かれた2人の希望をかなえるために、どのような計画を立てますか。2つのメールや【天気予報】を参考に、【メールⅢ】の①、②に当てはまる適切な内容を入れ、英文をそれぞれ完成させなさい。

【天気予報】

月日(曜日)	3/28(日)	3/29(月)	3/30(火)	3/31(水)	4/1(木)	4/2(金)	4/3(土)
天気							

【メールⅢ】

March 27 19:30

Dear Ted,
Let's go to Midori-machi together. I think next Saturday is a good day to go because ①].
In the morning, let's go to the art museum. We will have great time there.
And then, let's have lunch. Yamakaze Restaurant has ②].
So let's go to Yamakaze Restaurant.
In the afternoon, we can enjoy walking in Kuroshio Park.
What do you think?
Kenta

※学習シート等との関連

英語ライティングシート

Ⅱ 重要表現編2年生P. 179~180
P. 193~194

Ⅲ テーマ作文編1年生P. 243~260

Ⅲ テーマ作文編2年生P. 277~290

高知県語彙検定KOCHI Core-tan 高知これ単
P. 34~36 P. 72 P. 173

これまでの調査結果との比較

成果

- 算数・数学においては、計算力の向上が見られる。また、説明的文章の要旨を読み取る読解力や根拠を明らかにして表現する力についても一定の伸びが見られる。

課題

- 獲得した知識や技能を、日常生活の場面に当てはめて課題の解決方法を考えることや、知識や技能を活用して問題を解決する力、また、論理的に表現する力については、まだ、課題が残る。

【調査を活用した検証改善サイクルの確立】

本調査では今、求められている力である「課題を発見し、解決していくために必要な思考力、判断力、表現力等」を問う内容を出題しています。各学校においては、自校採点の結果を基に、課題を明確にし、改善策を立てて、年度末までの目標を設定して取り組みを進めていることと思います。年度内に児童生徒に身に付けさせなければならない力を確実に定着させるためにも、採点結果から捉えた課題を基に、授業改善や補充学習の取り組みを推進してください。短い期間ですが、今、できることに組織的・協働的に取り組み、来年度につなげ、学力向上検証改善サイクルを確立していきましょう。

Check!

これまでの授業改善の取り組みの成果をみる

児童・生徒

- 力を試し、達成状況を知る
(個人票の活用)



- 補充学習や家庭学習に取り組む

学校・教員

- 学年・学級・個の学力の定着状況を把握する
(自校採点 → 分析)

- 授業改善のポイントを明確にする
- 個に応じた指導を実施する

調査結果から、さらなる授業改善を図る

Action!

各調査を活用し、子どもたち一人ひとりの定着状況を把握して、次の手立てを行うことが大切です。



経年変化分析

各学校においては、本調査を全国学力・学習状況調査と併せて活用し、同一児童生徒の学力調査結果の伸びや学力調査における同様の問題の経年変化などを分析することにより、今後の学力向上対策をより充実させてください。

全校体制で授業改善に取り組む

各学校においては、校長や研究主任などのリーダーシップと全職員の日々の努力で、課題の解決に向けた校内研修や教科会が積極的に進められていることと思います。

今後も、「我が校ではこのように取り組む」という方針を明確にし、各教科等における資質・能力の育成を目指して、授業や単元の流れを、子どもの「主体的・対話的で深い学び」の過程として捉え、子どもたちの思考を深めるための発言を促したり、多様な表現をさせたりするなど、授業の工夫・改善に、全校体制で組織的・協働的に取り組んでいただきたいと思います。

各教科等における資質・能力の育成を目指した授業づくり

○ 日々の授業実践

○ 研究授業

- ・ 「チーム」での指導案の検討
- ・ 授業改善の取り組みの検証

↓
同僚性の構築

「児童生徒が主体的に考える場面があるか」「考えたことを表現・交流する場面があるか」など、言語活動のさらなる充実に向けて、事前に検討をしておきましょう。



児童生徒が目的や必要性を意識して取り組める学習となるよう、学習課題を工夫しましょう。

○ 日々の授業実践

- ・ 指導方法や学習活動の工夫
- ・ 学習内容の確実な定着

○ 学習指導についての共有化

- ・ 授業スタンダード
- ・ ノート指導
- ・ 家庭学習の指導

○ 指導計画の作成

- ・ 各教科等における資質・能力の育成に適した言語活動の設定
- ・ 弱点領域の指導方法の改善

○ 学力調査等の分析

- ・ 課題の焦点化
- ・ 改善策の明確化

学力向上に向けてこれだけは大切にしたい 授業づくりのポイント

授業中に	チェック
1. 子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。	
① 学習指導要領の指導内容に基づいたねらいになっている。	<input type="checkbox"/>
② 児童生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。	<input type="checkbox"/>
2. 学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。	
① 板書計画に基づいた構造的な板書をしている。	<input type="checkbox"/>
② 授業の流れや思考の過程がわかるように工夫している。	<input type="checkbox"/>
3. 自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。	
① 教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。	<input type="checkbox"/>
② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。	<input type="checkbox"/>
4. 話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。	
① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。	<input type="checkbox"/>
5. 学習したこと振り返りの場を設定する。	
① 児童生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させている。	<input type="checkbox"/>
② 学習内容に有用感もてる適用問題や評価問題を実施している。	<input type="checkbox"/>